

SONY®

取扱説明書（ヘルプガイド）

XPERIA Z3

Tablet Compact

SGP611／SGP612

目次

ご使用前の確認と設定 2

はじめにお読みください	2
各部の名称と機能	3
充電する	4
電源を入れる／切る	5
初期設定を行う	6

基本操作 7

タッチスクリーンの使いかた	7
キーアイコンの基本操作	8
縦／横画面表示を自動で切り替える	8
マナーモードを設定する	8
表示されている画像や動画を撮影する	9
通知LEDについて	9
ステータスバー	10
通知パネル	11
クイック設定ツール	12
ホーム画面の見かた	12
シンプルホーム	14
アプリ画面	15
タスクマネージャー	19
タブレットデバイス内のデータやウェブ ページを検索する	20
文字を入力する	21
文字入力の設定	26

アプリ 27

連絡先	27
Eメール	29
Gmail	31
Google Chrome	31
Google Play	32
FMラジオ	33
カメラ	34
アルバム	41
ムービー	43
YouTube	44
Walkman®	44
Google マップ	45
カレンダー	46
アラームと時計	47

本体設定 48

設定メニューを表示する	48
無線とネットワーク	48
機器	52
ユーザー設定	56
アカウント	59
システム	60

ファイル管理 62

ストレージ構成	62
ファイル操作	63
Bluetooth機能	64
NFC通信	65
パソコンとの接続	67
DLNA 機器との接続	69
テレビとの接続	70

トラブルシューティング.. 71

故障かな？と思ったら	71
------------------	----

その他 74

保証とアフターサービス	74
取扱上のご注意	74
防水／防塵性能	75
ソフトウェアを更新する	78
主な仕様	79
Guidelines for Safe and Efficient Use	80
エンドユーザーライセンス契約	84
輸出管理規制について	85
知的財産権について	85

はじめにお読みください

この取扱説明書（ヘルプガイド）は、Androidバージョン4.4.4に対応しています。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用になる前に、付属の「重要なお知らせ（安全のために）」を必ずお読みください。

この取扱説明書（ヘルプガイド）には、タブレットデバイスの操作やアプリに関する説明が記載されています。取扱説明書（ヘルプガイド）のPDF版をタブレットデバイスへダウンロードすることができます。

・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

取扱説明書（ヘルプガイド）について

取扱説明書（ヘルプガイド）のPDF版はタブレットデバイスにダウンロードして保存しておくことができます。

- 1 ホーム画面で  **【取扱説明書】**
- 2 取扱説明書（ヘルプガイド）が表示されたら、右下にある「PDF版（ダウンロード）」をタップ
- 3 ダウンロードが完了してステータスバーに  が表示されたら、ステータスバーを下にドラッグ
- 4 「helpguide_pdf.pdf」をタップ

🔔お知らせ

- ・ダウンロードした取扱説明書（ヘルプガイド）を後から参照するには、ホーム画面で  ► [ツール] ► [ダウンロード] ► 「helpguide_pdf.pdf」をタップします。

操作説明文の表記について

本書では、各キー（キーアイコン）の操作を 、、、 を使って説明しています。

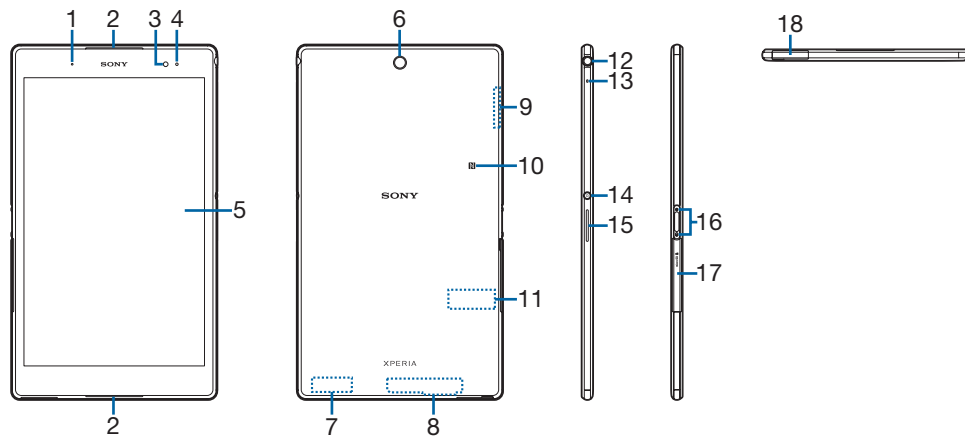
タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表 記	操作内容
ホーム画面で  ► [設定] ► [タブレット情報]	ホーム画面で  （アプリボタン）をタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「タブレット情報」を順にタップする
アイコンをロングタッチ	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

🔔お知らせ

- ・本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- ・本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- ・本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- ・本書の本文中においては、「SGP611」「SGP612」を「タブレットデバイス」と表記しております。あらかじめご了承ください。

各部の名称と機能



- 1 通知LED
- 2 スピーカー
- 3 フロントカメラレンズ
- 4 照度センサー
- 5 タッチスクリーン
- 6 カメラレンズ
- 7 Wi-Fiアンテナ部
- 8 Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部
- 9 GPSアンテナ部
- 10 **N**マーク
- 11 銘板プレート
- 12 ヘッドセット接続端子
- 13 マイク
- 14 電源キー／画面ロックキー
- 15 音量キー／ズームキー
- 16 充電端子
- 17 microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口
- 18 microUSB接続端子

！ 注意

- 照度センサー上にシールなどを貼らないでください。
- CEマーク、FCC IDなどの情報が表示されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。
- アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- 裏面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 電池は本体に内蔵されており、取り外せません。

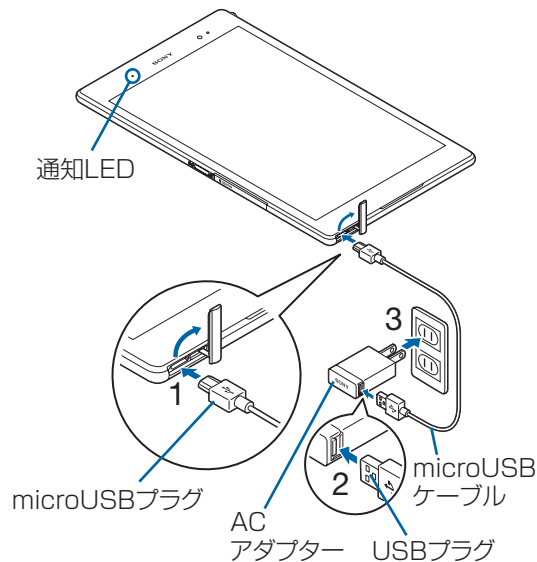
充電する

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

充電について

- 充電には本体付属のACアダプターやmicroUSBケーブルをご使用ください。対応充電器以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電源オフの状態での充電を開始すると、操作はできませんがタブレットデバイスの電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。
- 電池残量は、画面上部のステータスバーで確認できます。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の状態により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらアプリなどを長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- タブレットデバイスをmicroUSBケーブルでパソコンに接続しても充電することはできませんが、使用状況により充電できない場合があるため、タブレットデバイスの電源を切った状態か、画面のバックライトが消灯している状態で充電してください。
タブレットデバイス上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。

ACアダプターを使って充電する



- 1 microUSB 接続端子カバーを開き、microUSB プラグを水平に差し込む**
- 2 USB プラグをACアダプターに差し込む**
- 3 ACアダプターをコンセントに差し込む**
 - 通知LEDが点灯します。
- 4 充電が完了したら、microUSB プラグを取り外し、microUSB 接続端子カバーを閉じる**
- 5 ACアダプターをコンセントから抜く**

！注意

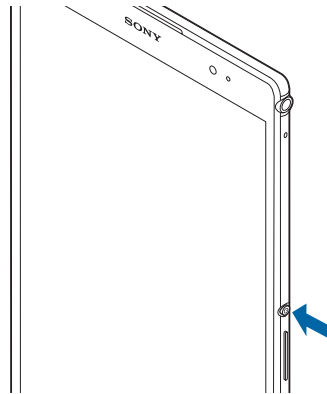
- ・接続方向をよくご確認ください。正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ㊦ を1秒以上押す

- ・タブレットデバイスが振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。



2 画面ロックを解除

- ・画面ロックを解除した後に言語を選択する画面が表示されたら、初期設定を行います (P.6)。

💡お知らせ

- ・電池残量が十分でない場合、電源を入れるために ㊦ を押すと、通知LEDが赤色で3回点滅したり、電池残量が少ないことを示すアイコンが表示されたりします。タブレットデバイスを充電してください (P.4)。

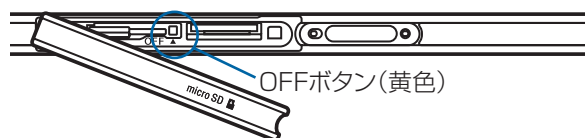
電源を切る

1 ㊦ を1秒以上押す

2 [電源を切る] ▶ [OK]

強制終了する

1 microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバーを開き、黄色のOFFボタンを先の細いもので約3秒間押し、3回振動した後に離す



💡お知らせ

- ・黄色のOFFボタンは、針など尖ったもので押すと故障の原因になります。
- ・㊦ と音量キーの上を同時に約3秒間押し、3回振動した後に指を離しても強制終了できます。

スリープモードにする

スリープモードにすると、画面のバックライトが消灯してタッチスクリーンやキーの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。

1 を押す

- 再度  を押すと、スリープモードが解除されます。

お知らせ

- 設定した時間が経過して、自動的に画面のバックライトが消灯した場合も、スリープモードになります。画面のバックライトが消灯するまでの時間は「画面設定」(P.53) の「スリープ」から変更できます。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたとき、または  を押してスリープモードを解除したときに表示されます。

1 ロック画面で画面を上下左右にフリック（スワイプ）

お知らせ

- 画面ロックの方法は「セキュリティ」(P.56) の「画面のロック」から変更できます。

ロック画面にウィジェットを追加する

ロック画面に、カレンダーや時計などのウィジェットを追加できます。

- あらかじめロック画面のウィジェットを有効にしておく必要があります (P.56)。

1 ロック画面でデジタル時計のウィジェットを右にドラッグ

2 ▶ 追加したいウィジェットをタップ

お知らせ

- ウィジェットを削除するには、ロック画面で削除するウィジェットをロングタッチ ▶ 画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

初期設定を行う

電源を入れて画面ロックを解除した後、言語を選択する画面が表示されたら、初期設定を行います。

1 **[日本語]** ▶ **[完了]** ▶

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

タブレットデバイスのディスプレイはタッチスクリーンになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。
また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

タッチスクリーン上の操作

タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

ロングタッチ

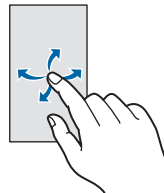
アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

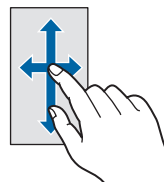
フリック（スワイプ）

画面に触れて上下左右にはらうように操作します。



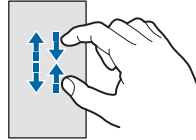
スクロール

画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。



ピンチ

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。



キーアイコンの基本操作

画面下部に表示される 、、 の主な操作は次のとおりです。



	直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。
	ホーム画面を表示します。ロングタッチして、 ヘドレッジすると「Google」アプリを起動、 ヘドレッジすると「What's New」アプリを起動できます。
	最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示して起動したり、スモールアプリを使用することができます（P.19）。

縦／横画面表示を自動で切り替える

タブレットデバイスの向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ホーム画面で ▶ [設定]

2 [画面設定] ▶ [画面回転] ▶ [画面の自動回転] にチェックを入れる

🔔お知らせ

- 表示中の画面によっては、「画面の自動回転」にチェックを入れても自動で縦／横画面表示が切り替わらない場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態では、自動で縦／横画面表示が切り替わらない場合があります。
- 画面の自動回転をオンに設定してから、ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [画面設定] ▶ [画面回転] ▶ [スマート画面回転] をタップすると、タブレットデバイスの動きによって画面を回転するかどうかを自動的に判断する機能のオン／オフを設定できます。

マナーモードを設定する

1 を1秒以上押す ▶ / / のいずれかをタップ

- : ミュート（音量0）
- : バイブレーション
- : マナーモード解除

🔔お知らせ

- 音量キーの下を押し続けるとバイブレーションに、バイブレーション設定中に音量キーの下を押すとミュートに設定できます。ロック画面表示中やカメラなどの一部のアプリでは、音量キーの下を押してマナーモードを設定できません。
- マナーモード設定中でも、シャッター音などの音声は消音されません。
- マナーモード設定中に、音量キーの上を押して音量を上げると、マナーモードは解除されず。

表示されている画像や動画を撮影する

現在表示されている画面を撮影できます（スクリーンショット／スクリーンレコード）。

- 撮影した画像／動画は「アルバム」「写真」「ムービー」の各アプリで確認することができます。

静止画を撮影する（スクリーンショット）

1 スクリーンショットを撮影する画面で、 と音量キーの下を同時に1秒以上押す

- スクリーンショットが撮影され、ステータスバーにが表示されます。

💡お知らせ

-  を1秒以上押す▶ [スクリーンショット] をタップしても、スクリーンショットを撮影できます。

動画を撮影する（スクリーンレコード）

1 を1秒以上押す▶ [スクリーンレコード]

- 操作パネルが表示されます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、[同意する] をタップしてください。

2 （録画）をタップして撮影を開始

3 録画時間のボタンをタップ▶ （停止）をタップして撮影を終了

- スクリーンレコードが撮影され、ステータスバーにが表示されます。
- 操作パネルを閉じるにはをタップします。

💡お知らせ

-  をタップするとフロントカメラの映像が表示され、表示中の画面と同時に録画できます。
-  をタップすると、動画の画質や向きを変更できます。

通知LEDについて

通知LEDの点灯／点滅により、充電中の電池の状態やメールの受信などをお知らせします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示す
橙の点灯	充電中に電池残量が15%～89%であることを示す
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示す
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示す
白の点滅	新着Gmailがあることを示す（バックライト消灯中、ロック画面を表示中に点滅）

💡お知らせ

- 電池残量が十分でない場合は、電源を入れるためにを押すと通知LEDが赤色で3回点滅します。
- 電源オフの状態で充電を開始すると、はじめに通知LEDが赤く点灯します。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはタブレットデバイスの状態（ステータス）と通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



ステータスアイコン

主なステータスアイコンは次のとおりです。

- : Wi-Fi接続中
- : Wi-Fi通信中
- : Auto IP 機能で Wi-Fi 接続中
- : Bluetooth 機能をオンに設定中
- : Bluetooth 機器に接続中
- : 機内モード設定中
- : マナーモード（バイブレーション）設定中
- : マナーモード（ミュート）設定中
- : アラーム設定中
- : GPS測位中
- : STAMINA®モード設定中
- : 低バッテリーモード起動中
- : 電池の状態
- : 充電中
- : 電池残量が少ない状態（4%以下）

通知アイコン

主な通知アイコンは次のとおりです。

- : 新着Eメールあり
- : 新着Gmailあり
- : スクリーンショット／スクリーンレコードあり
- : 新着Facebookメッセージあり
- : Facebookヘデータアップロード中
- : Facebookヘデータアップロード完了
- : Facebook機能の設定要求通知あり
- : データを受信／ダウンロード
- : データを送信／アップロード
- : Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり
- : microSDカードのマウント解除（読み書き不可）
- : microSDカードが取り外されている状態
- : microSDカードの準備中
- : アップデート通知あり
- : インストール完了
- : ソフトウェア更新通知あり
- : ソフトウェア更新ダウンロード中
- : ソフトウェア更新ダウンロード完了
- : カレンダーの予定通知あり
- : ストップウォッチ計測中
- : タイマー使用中
- : アラーム鳴動中
- : 楽曲をWalkman®で再生中

- : FMラジオ使用中
- : USB接続中
- : MHL 接続中
- : TV launcherの起動が可能な状態
- : スクリーンミラーリング接続中
- : Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
- : VPN接続中
- : メディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
-   : エラーメッセージ／注意メッセージ
- : 同期に問題あり
- : 表示しきれていない通知あり
- : メモリーの空き容量低下
- : microSDカードへのデータ転送の通知あり（内部ストレージの空き容量低下）

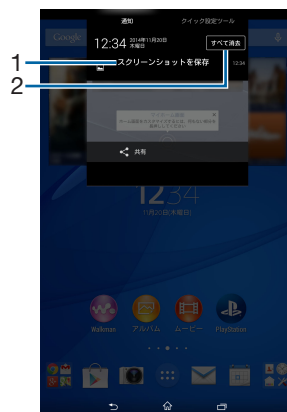
お知らせ

- 通知アイコンによっては、ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知内容を確認できます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



- 1 通知内容
- 2 すべて消去
 - 通知パネル内の表示をすべて消去します。通知内容によっては消去できない場合があります。

お知らせ

- 通知パネルを閉じるには、 をタップします。
- 通知パネル内の通知を左右にフリックすると、一覧から消去できます。
- 通知パネル上でピンチ（P8）すると、通知内容によっては、「共有」などの操作画面を表示／非表示にできます。

クイック設定ツール

機能のオン／オフなどを設定できます。

1 ステータスバーを下にドラッグ▶ [クイック設定ツール]

- 2本の指でステータスバーを下にドラッグしても表示できます。



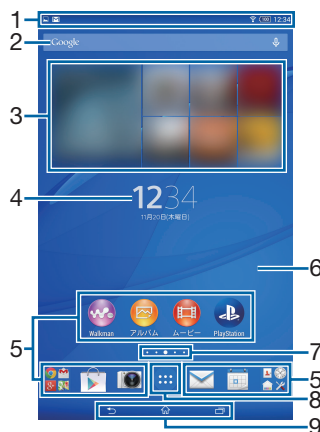
1 編集

- ツールの数や並び順を変更します。

2 クイック設定ツール

設定	設定メニュー（P.48）を表示します。
Wi-Fi	Wi-Fi機能のオン／オフを設定できます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを設定できます。
位置情報	位置情報のオン／オフを設定できます。
Throw	Throw機能を起動できます。
画面の自動回転	タブレットデバイスの向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替えるかどうかを設定できます。
画面の明るさ	画面の明るさを調整できます。
STAMINA	STAMINAモードのオン／オフを設定できます。

ホーム画面の見かた



1 ステータスバー

2 ウィジェット：Google検索

3 ウィジェット：What's New

4 ウィジェット：時計

5 ショートカット（アプリ）

6 壁紙

7 ホーム画面の現在表示位置

- ホーム画面を左右にフリックすると切り替えられます。

- 8 アプリボタン
 - ・アプリ画面からさまざまな機能呼び出すことができます。
- 9 キーアイコン

🔔お知らせ

- ・メインのホーム画面を変更するには、変更したいホーム画面に切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶をタップします。

ホーム画面を追加する

複数のホーム画面を表示できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 ホーム画面を追加したい方向にフリック▶

🔔お知らせ

- ・ホーム画面を削除するには、削除したいホーム画面に切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶をタップします。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [ウィジェット] ▶追加したいウィジェットを選択

- ・設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

🔔お知らせ

- ・ウィジェットの表示サイズを変更するには、ウィジェットをロングタッチ▶青色の枠をドラッグします。表示サイズを変更できないウィジェットもあります。
- ・ウィジェットを削除するには、ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [アプリ]

3 [ショートカット] または追加したいアプリを選択

- ・「ショートカット」を選択した場合は、登録されているショートカットから選択します。
- ・データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

🔔お知らせ

- ・ショートカットを削除するには、ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

ホーム画面にフォルダを追加する

ホーム画面に追加したアプリやショートカットなどをフォルダに入れて管理できます。

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ

2 別のアイコンの上までドラッグ

🔔お知らせ

- フォルダにアイコンを移動するには、ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶[完了] をタップします。
- フォルダを削除するには、ホーム画面で削除したいフォルダをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグ▶[削除] をタップします。フォルダ内のアプリやショートカットなども削除されます。

壁紙を変更する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [壁紙] ▶ 設定したい画像をタップ

テーマを変更する

ホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを変更できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [テーマ] ▶ 任意の画像をタップ

3 [テーマを設定] ▶ [OK]

シンプルホーム

シンプルホームを設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。

1 ホーム画面で ▶ [設定]

2 [ホーム] ▶ [シンプルホーム] ▶ [→] ▶ [OK]

- 文字サイズを「特大」にしない場合は、「フォントサイズを「特大」にする」のチェックを外してください。

シンプル設定を利用する

1 シンプルホーム画面で [シンプル設定]

画面設定	画面に関する設定をします。
音設定	マナーモードの設定をします。
ホームカスタマイズ	ホーム画面に表示するアプリの種類や位置を変更します。
詳細設定	標準の設定メニューを表示します。
ホーム切替	標準のホーム画面に切り替えます。

マイセレクトにアプリを登録する

「マイセレクト」フォルダに使用頻度の高いアプリなどを登録しておくことで、簡単に起動できます。

1 シンプルホーム画面で【マイセレクト】 ▶ 【編集】 ▶ 【OK】

2 登録するアプリにチェックを入れる ▶ 【完了】

🔔お知らせ

- 「マイセレクト」フォルダに登録したアプリを削除するには、手順2で削除したいアプリのチェックを外す ▶ 【完了】 をタップします。

シンプルホーム画面のアプリを変更する

1 シンプルホーム画面で【シンプル設定】 ▶ 【ホームカスタマイズ】

2 【アプリの変更】 / 【アプリの並べ替え】

3 変更したいアプリを選択 ▶ 表示したいアプリを選択 / 移動先を選択

4 【OK】

🔔お知らせ

- 手順2で【初期化】 ▶ 【OK】 をタップすると、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、「マイセレクト」フォルダに登録したアプリは初期化されません。

標準のホーム画面に切り替える

1 シンプルホーム画面で【シンプル設定】 ▶ 【ホーム切替】 ▶ 【OK】

アプリ画面

1 ホーム画面で



- アプリ画面の現在表示位置
 - アプリ画面を左右にフリックすると切り替えられます。
- オプションメニュー表示
 - アプリ画面の左端を右にフリックするとオプションメニューを表示します。
- アプリアイコン一覧
 - 未読メールなどの件数が数字で表示されるアイコンがあります。

🔔お知らせ

- 一番左のアプリ画面では、画面の左端以外を右にフリックしてもオプションメニューを表示できます。
- アプリアイコンの並べ替え中に一番右のアプリ画面の右端までドラッグすると、アプリ画面を追加できます。

アプリ一覧

アプリ画面に表示されるアプリは次のとおりです。

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）やダウンロードが必要となるものがあります。

Chrome

インターネットに接続します。→P.31

Playストア

新しいアプリのダウンロード・購入ができます。→P.32

Eメール

Eメールを送受信します。→P.29

Walkman

音楽などを再生します。→P.44

アルバム

静止画／動画などを再生します。→P.41

ムービー

Video Unlimitedでタブレットデバイスにダウンロードした作品や、PCなどから転送した動画を再生できます。Wi-Fi機能を利用してDLNA機器の動画を再生したり、「ワイヤレスおでかけ転送」機能に対応したブルーレイディスクレコーダーで録画した番組などをタブレットデバイスで再生できます。→P.43

PlayStation

PlayStation Networkアカウントにログインして、各サービスを利用できます。

What's New

最新の音楽、映画、アプリ、ゲームを楽しむことができます。

Lifelog

ユーザーの身体的な活動のほか、タブレットデバイスの利用履歴も記録して時系列で確認できるアプリです。

カメラ

静止画を撮影、動画を録画します。→P.34

Facebook

「Facebook」を利用できます。

ニュース from Socialife

FacebookやTwitterなどのSNS、お気に入りのニュースサイトなどをまとめて閲覧・管理できます。

YouTube

動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。→P.44

TrackID™

楽曲認識サービスを利用できます。

カレンダー

予定の管理をします。→P.46

連絡先

友人や同僚の連絡先を管理します。→P.27

設定

タブレットデバイスの各種設定を行います。→P.48

アラームと時計

アラームの設定や、時計を表示します。→P.47

マップ

現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。→P.45

Video Unlimited

お気に入りの映像作品をダウンロードして、どこでも視聴できるサービス「Video Unlimited（ビデオアンリミテッド）」へ接続します。

FMラジオ

FMラジオを利用できます。→P.33

スマートコネクト

外部機器接続時やアプリの起動／停止時などの動作を設定します。

Gmail

Gmailを利用できます。→P.31

ツール

フォルダ内に「電卓」「ダウンロード」アプリが格納されています。

Google+

Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。

写真

写真や動画を閲覧できます。Google+にログインして、バックアップすることもできます。

Google

タブレットデバイス内やウェブ上の検索を行います。→P.20

音声検索

Google 音声検索を利用できます。→P.20

ハングアウト

写真や絵文字、動画などを使ってチャットができます。

ニュースと天気

位置情報をもとにした天気予報、ニュースなどの各種情報がチェックできます。

Playムービー&TV

Google Playの映画をレンタルしたり、タブレットデバイスに保存した動画を再生したりすることができます。

Playブックス

ダウンロードした書籍や雑誌などを読むことができます。

Playニューススタンド

最新のニュースや気になるニュースをまとめてチェックできます。

スケッチ

イラストを作成したり、写真を読み込んで加工することができます。

Xperia Link

他のXperia™ 端末のモバイルネットワークを経由してインターネットに接続することができます。

バックアップと復元

タブレットデバイスのデータをmicroSDカードなどにバックアップしたり復元したりするアプリです。

TrackID™ TV

視聴しているテレビ番組の情報を確認するサービスを利用できます。

Sony Select

Sony Selectに接続して、アプリやゲームなどを取得できます。

Wi-Fiチェッカー

Wi-Fiネットワークの接続状態の確認とトラブル解決のヒントを表示します。

更新センター

最新のソフトウェアやアプリを取得することができます。→P.78

Play ゲーム

Google Playからゲームをダウンロードすることができます。

TV SideView

タブレットデバイスをソニー製のテレビなどの製品のリモコンとして利用できます。

Google設定

Googleアプリに関する設定をします。

スポット便利帳

テレビ番組で紹介されたお店を番組表から探したり、店舗情報などをスポット情報としてまとめるアプリです。

OfficeSuite

Officeドキュメントなどを閲覧・編集できます。

Skype

音声通話やインスタントメッセージ（チャット）が利用できます。

Movie Creator

カメラで撮影した写真や動画から自動的に短いフォトムービーを作成したり、作成したフォトムービーを編集したりできます。

File Commander

静止画、動画、音楽データ、ダウンロードしたファイルなどを探すことができます。→P.63

mora

ソニーの高音質音楽ダウンロードストアから音楽、ミュージックビデオを購入できます。

電子書籍 Reader by Sony

ソニーのeBookストア「Reader Store」から書籍を購入できます。

Keep

メモをすばやく作成できます。作成したメモはGoogleアカウントに同期され、どこからでも簡単にアクセスできます。

Dropbox

オンラインストレージとの間でデータの共有や同期を行います。

Twitter

Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

ドライブ

Googleドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。

音声レコーダー

音声や音楽などを高音質で録音できるアプリです。

ウィルスバスター

セキュリティ対策ソフトをダウンロードします。ダウンロードおよびインストールするとアイコンは消去されます。

🔔お知らせ

- ・アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。アプリをダウンロードできない場合は、「セキュリティ」からダウンロードを許可するように設定します（P.56）。
- ・複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあるため、使用しないアプリは終了することをおすすめします。アプリを終了するには、使用中のアプリの画面で  をタップします。

アプリをホーム画面に追加する

アプリのショートカットをホーム画面に追加できます。

1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアプリアイコンをロングタッチ

- ・フォルダ内のアプリアイコンは、フォルダの外までドラッグします。

2 画面上部に表示される「ホーム画面に追加」までドラッグ

- ・ホーム画面が表示されます。

3 ショートカットを置く場所までドラッグ

アプリを削除（アンインストール）する

- ・削除する前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- ・アプリによっては、削除できない場合があります。

1 アプリ画面で画面の左端を右にフリック

2 [アンインストール] ▶ のついたアプリアイコンをタップ

3 [アンインストール]

アプリ画面にフォルダを追加する

アプリ画面のオプションメニュー（P.15）で「カスタム並べ替え」に設定しているときに、アプリ画面に表示されるアプリアイコンをフォルダに入れて管理できます。

1 アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ

2 別のアイコンの上までドラッグ

🔦お知らせ

- ・フォルダにアプリアイコンを移動するには、アプリ画面で移動したいアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- ・フォルダ内のアプリアイコンをフォルダから出すには、フォルダをタップ▶アプリアイコンをロングタッチ▶アプリアイコンを置く場所までドラッグします。
- ・フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶[完了] をタップします。

アプリアイコンを並べ替える

アプリ画面のオプションメニュー（P.15）で「カスタム並べ替え」に設定しているときに、アプリ画面に表示されるアイコンを任意の場所に並べ替えることができます。

1 アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ▶任意の場所までドラッグ

🔦お知らせ

- ・アプリアイコンの並べ替え中に、一番右のアプリ画面の右端までアイコンをドラッグすると、アプリ画面を追加できます。
- ・「アルファベット順」「よく使うアプリ順」「インストール済み」を設定すると自動的に並べ替えられます。

タスクマネージャー

使用中のアプリを切り替えたり、終了したりすることができます。

最近使用したアプリのウィンドウを開く

最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動できます。

1

🔦お知らせ

- ・アプリを起動するには、サムネイル表示されたアプリをタップします。
- ・アプリをサムネイルの一覧から削除するには、サムネイル表示されたアプリを左右（縦画面表示）または上下（横画面表示）にフリックします。
- ・アプリをすべて終了し、サムネイルの一覧から削除するには、[全アプリ終了] をタップします。
- ・アプリの情報を確認するには、サムネイル表示されたアプリをロングタッチ▶[アプリ情報] をタップします。

スモールアプリ

アプリを使用しながらスモールアプリ（小画面で表示されるアプリ）を利用できます。

スモールアプリを利用する

1

- ・スモールアプリが画面下部のスモールアプリバー（お気に入り）に表示されます。

2 スモールアプリを選択

🔔お知らせ

- ・起動中のスモールアプリを閉じるには  をタップします。
- ・スモールアプリを複数設定している場合は、スモールアプリバー（お気に入り）を左右にフリックすると表示されます。

スモールアプリを追加する

1 ▶

- ・スモールアプリリストが表示されます。

2 追加したいスモールアプリまたはウィジェットをロングタッチ▶スモールアプリバー（お気に入り）までドラッグ

🔔お知らせ

- ・スモールアプリリストで  ▶ [Playストア] / [ウィジェット] をタップすると、Google Playから新しいスモールアプリをインストールしたり、ウィジェットをスモールアプリとして追加したりできます。
- ・スモールアプリバー（お気に入り）からスモールアプリを削除するには、削除したいスモールアプリをロングタッチ▶スモールアプリバー（お気に入り）の枠外に表示される  までドラッグ▶ [OK] をタップします。
- ・ウィジェットやスモールアプリを削除するには、スモールアプリリストで  ▶ [ウィジェットを削除] / [スモールアプリをアンインストール] ▶削除したいウィジェットやスモールアプリを選択▶ [OK] をタップします。

タブレットデバイス内のデータやウェブページを検索する

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェット（P.12）をタップ

2 入力欄にキーワードを入力

- ・アプリや検索候補などが一覧表示されます。

3 項目またはソフトウェアキーボードの

- ・アプリを選択した場合は、アプリが起動します。

音声で入力して検索する

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットの

2 マイクに向かって検索したいキーワードを話す

検索設定

検索ボックスで使用する設定を変更できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

2 画面下の ▶ ▶ [設定]

3 項目を選択

文字を入力する

文字入力、メールの作成などで文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

☛お知らせ

- ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーにが表示されます。
- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面下に表示されるをタップします。
- 文字入力画面でテキストをロングタッチすると、拡大されたテキストが表示されます。

POBox Plus 使い方ガイド

タブレットデバイスの文字入力方法は、あらかじめ日本語入力の「POBox Plus」に設定されています。「POBox Plus 使い方ガイド」では、POBox Plusを詳しく解説しています。

1 文字入力画面でクイックツールバーの

- クイックツールバーが表示されていない場合は、をタップします（テンキーで文字種が「英字」「数字」の場合は、／をタップして「ひらがな漢字」に切り替えるとが表示されます）。

2 【使い方ガイド】

入力方法の選択

1 ホーム画面で▶【設定】

2 【言語と入力】▶【現在の入力方法】

3 【日本語（POBox Plus）】／【中国語キーボード（中国語キーボード）】／【インターナショナルキーボード（外国語キーボード）】のいずれかをタップ

ソフトウェアキーボード

POBox Plus では、次のソフトウェアキーボードを使用できます。

- 文字入力のしかたについて→P.23

PCキーボード	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。
テンキー	携帯電話と同じ配列のキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を選択するトグル入力に加えて、フリック入力もできます。
50音キーボード	50音順／アルファベット順に並んだキーボードを使用して文字を入力します。

☛お知らせ

- ソフトウェアキーボードを使用するほかに、手書き入力や音声入力などで文字を入力することもできます。

ソフトウェアキーボードの切り替えや設定の変更

ツール一覧を表示すると、ソフトウェアキーボードや手書き入力・音声入力の切り替え、プラグインアプリ（拡張機能）の利用、設定の変更などができます。

1 文字入力画面でクイックツールバーの ...

- クイックツールバーが表示されていない場合は、 をタップします（テンキーで文字種が「英字」「数字」の場合は、 /  をタップして「ひらがな漢字」に切り替えると  が表示されます）。

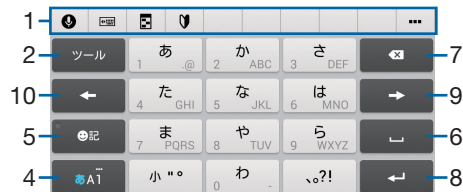
キーボード一覧設定	ソフトウェアキーボード（テンキー／PCキーボード／50音キーボード）を文字種ごとに設定します。
ミニキーボード	ソフトウェアキーボードのサイズを切り替えます。コンパクトなサイズにすると、任意の場所に移動することができます。
ユーザー辞書	→P.26
設定	POBox Plusの設定を変更できます。
キセカエ	ソフトウェアキーボードの外観を変更できます。
使い方ガイド	→P.21
かんたんメニュー	「使い方ガイド」を選択すると、「POBox Plus 使い方ガイド」を表示します。→P.21 「かんたんキーボード」を選択すると、見やすいデザインの50音キーボードに変更します。 「初期設定に戻す」を選択すると、ソフトウェアキーボードの設定やデザインなどをお買い上げ時の状態に戻します。
手書き入力	手書き入力で切り替えます。
Google 音声入力	Google 音声入力で切り替えます。
Webからアプリ追加	ウェブサイトからプラグインアプリ（拡張機能）をダウンロードできます。

文字入力のしかた

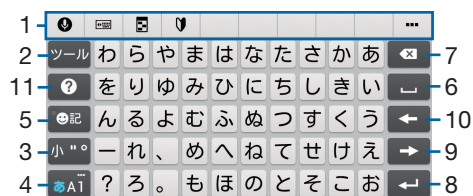
ソフトウェアキーボードでキーをタップすると、入力した文字に対して候補リストが表示されます。候補リストから入力したい語句をタップすると、次々に文章を入力できます。



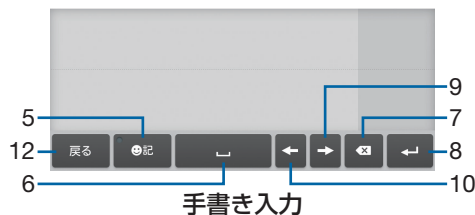
PCキーボード



テンキー



50音キーボード



手書き入力

- 1 クイックツールバー
よく使う機能のショートカットが表示されます。... をタップすると、ツール一覧を表示します (P.22)。
- 2 ツール
クイックツールバーの表示／非表示を切り替えます。
逆順
同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
- 3 全角 / 半角 / 全角
英字の小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
全角 / 半角
数字入力時に表示され、半角／全角を切り替えます。
小"°
最後に入力した1文字を「あ」や「ゃ」などの小文字へ変換したり、「ぱ」や「ば」のように濁点や半濁点を付けることができます。
- 4 あA / あA / あA
「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種を切り替えます。
あA / あA / あA ロングタッチ
ツール一覧を表示します (P.22)。
- 5 記 / 記
記号、顔文字などの一覧の表示／非表示を切り替えます。
変換 / 英数字 / 予測
ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、予測候補リスト／変換候補リスト／英数字・カタカナの変換候補リストを切り替えます。

- 6  スペースを入力します。
-  ひらがな漢字入力時に、候補リスト内の語句をハイライト表示して選択します。
- 7  カーソル位置の前の文字を削除します。
- 8  改行します。
-  変換確定前に表示され、文字を確定します。
- 一部の画面では、 や「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。
- 9  カーソルを右へ移動します。
- 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します（手書き入力を除く）。
- 10  カーソルを左へ移動します。
- 11  「POBox Plus 使い方ガイド」を表示します。
-  /  /  ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、予測候補リスト／変換候補リスト／英数字・カタカナの変換候補リストを切り替えます。
-  /  英字入力時の変換確定前に表示され、予測候補リスト／変換候補リスト（全角・半角・大文字・小文字）を切り替えます。
-  /  /  記号／顔文字／絵文字のリストを切り替えます。
- 12  PCキーボード／テンキー／50音キーボードに戻ります。

💡お知らせ

- 変換確定後に変換前の表示に戻すには、つながり予測候補などに表示される  をタップします（手書き入力を除く）。
- 候補リスト内の  をタップすると、表示領域が拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには、 または「閉じる」をタップします。
- 候補リストの語句をロングタッチして「学習履歴から削除する」をタップすると、候補リストから削除できます。
- 手書き入力では、入力した文字の左上のアイコンをタップすると、入力文字に対する候補が表示されます。水色の文字が認識されている文字になり、候補リストの下に文字の種類別に色分けで表示されます。
- 手書き入力では、次の操作ができます。
 - 2文字以上を入力した後に左上のアイコンをタップすると、 が表示されます。 をタップすると、入力した2文字を1つの文字に結合できます。
 - 文字入力時に  をタップすると、入力した文字を削除できます。
- 手書き入力では、次の点に注意してください。
 - 濁点や半濁点は入力画面の中央より上側に入力
 - 句読点や小文字は入力画面の中央より下側に入力

テンキーの入力方法

・フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

例：「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。



・トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。

同じキーに配列された文字を続けて入力する場合は、タップしたキーの色が戻るのを待ってから（約1秒）、次の文字を入力します（すぐに次の文字を入力したい場合は、 をタップするとカーソルを移動できます）。キーの色が戻っている状態で  をタップすると、直前に入力した文字と同じ文字が入力されます。

例：「あお」と入力する場合

1「あ」を1回タップ▶（キーの色が戻るまで）約1秒待つ

2「あ」を5回タップ

または

1「あ」を1回タップ▶（すぐに）

2「あ」を5回タップ

テキストの編集

文字入力中に編集したい文字をダブルタップしたり、ウェブページなどでコピーしたいテキストをロングタッチすると、画面上部にテキストの編集メニューが表示され、文字のコピーや切り取りなどの操作が行えます。

1 編集したい文字をダブルタップ／ロングタッチ

- ・  または  をドラッグすると、選択する文字列を変更できます。

2 画面上部に表示されるメニューから選択

すべて選択	テキストをすべて選択します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
完了	編集メニューを終了します。

💡お知らせ

- ・ コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入したい位置でロングタッチ▶ [貼り付け] をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップ▶  ▶ [貼り付け] をタップします。
- ・ 編集メニューのアイコンはアプリにより異なります。
- ・ 横画面ではテキストの編集メニューが表示されない場合があります。
- ・ アプリによっては、本機能を利用できない場合があります。

ユーザー辞書

あらかじめ辞書の登録をしておくと、文字入力時の候補リストに優先的に表示されます。

1 文字入力画面でクイックツールバーの ...

- クイックツールバーが表示されていない場合は、 をタップします（テンキーで文字種が「英字」「数字」の場合は、 /  をタップして「ひらがな漢字」に切り替えると  が表示されます）。

2 【ユーザー辞書】

3 +

4 「読み」の文字入力欄をタップ▶入力

5 「語句」の文字入力欄をタップ▶入力

6 [OK]

💡お知らせ

- 削除する場合は、手順3で削除したいユーザー辞書にチェックを入れる▶▶【削除】をタップします。

文字入力の設定

入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で ▶【設定】▶【言語と入力】

2 「外国語キーボード」／「中国語キーボード」／「POBox Plus」／「Google 音声入力」の

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

💡お知らせ

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- 文字入力中にステータスバーを下にドラッグ▶【入力方法の選択】▶【入力方法の設定】▶各入力方法の  をタップしても設定画面が表示されます。
- POBox Plusで文字を入力している場合は、文字入力画面でクイックツールバーの ▶【設定】をタップしても、POBox Plusの設定画面が表示されます。

連絡先

電話番号やメールアドレスなどの連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

連絡先を表示する

1 ホーム画面で

連絡先一覧画面



- 1 検索アイコン
- 2 新しい連絡先の追加アイコン
- 3 オプションメニュー
- 4 画面切り替えタブ
- 5 ICE 情報
緊急時のための医療情報や、身内などの連絡先を登録できます。
- 6 自分の連絡先
- 7 Facebookの更新情報
- 8 連絡先に登録された名前
- 9 検索バー
名前を五十音順、アルファベット順などで検索します。

連絡先を登録する

1 ホーム画面で

2

- Google アカウントを設定していない場合は、[本体に保存] をタップするか、[アカウントを追加] をタップし、画面の指示に従ってアカウントを追加してください。

3 必要な項目を入力 ▶ [完了]

連絡先をグループに設定する

1 ホーム画面で

2 グループ設定する連絡先を選択 ▶

3 「グループ名」欄をタップ ▶ 設定するグループにチェックを入れる ▶ ▶ [完了]

連絡先のグループを新規作成する

- 1 ホーム画面で  ▶  ▶ 「グループ」 タブをタップ
- 2  ▶ グループ名を入力
- 3  ▶ 追加する連絡先にチェックを入れる ▶ **【完了】**
- 4 **【完了】**

🔔お知らせ

- ・グループを編集／削除するには、手順2でグループを選択 ▶  をタップします。お買い上げ時に登録されているグループは削除できません。

連絡先を編集する

- 1 ホーム画面で  ▶ 
- 2 編集する連絡先を選択 ▶ 
- 3 必要な項目を選択して編集 ▶ **【完了】**

🔔お知らせ

- ・Facebook アカウントの連絡先は編集できません。

連絡先をお気に入り登録する

お気に入り登録すると、連絡先にすぐにアクセスできます。

- 1 ホーム画面で  ▶ 
- 2 登録する連絡先を選択
- 3 

- ・お気に入りを解除する場合は  をタップしてください。

自分の連絡先の情報を編集する

- 1 ホーム画面で  ▶ 
- 2 **【自分の連絡先】** ▶ 
- 3 必要な項目を選択して編集 ▶ **【完了】**

連絡先をエクスポート／インポートする

microSD カードへ連絡先をエクスポート／インポートできます。

- ・あらかじめ microSD カードを取り付けてください。

- 1 ホーム画面で  ▶ 
- 2 
- 3 **【連絡先エクスポート】** / **【連絡先インポート】**
- 4 **エクスポート先／インポート先を選択**
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

Eメール

一般のISP（プロバイダ）が提供するEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。
複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Eメールの初期設定をする

Eメールアカウントを設定します。

1 ホーム画面で

- 2件目以降のEメールアカウントを設定する場合は、ホーム画面で▶▶ [設定] ▶ [アカウントを追加] をタップします。

2 Eメールアドレスとパスワードを入力

3 [次へ]

- Eメールを手動で設定する場合は、[手動セットアップ] をタップし、画面の指示に従って設定してください。

4 確認頻度を設定▶ 必要な項目にチェックを入れる▶ [次へ]

- アカウントのタイプを選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

5 アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力▶ [次へ]

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。

🔔お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプ（遠隔消去）を設定していると、タブレットデバイス内のデータが消去されることがあります。

Eメールを送信する

1 ホーム画面で

2 (作成)

3 送信相手のEメールアドレスを入力

-  をタップすると、登録されている連絡先から選択できます。
- 複数のEメールアドレスを文字で直接入力する場合は、カンマ (,) で区切って追加します。
- CcまたはBccを追加する場合は、 の右横の  をタップします。

4 件名や本文を入力

5 [送信]

🔔お知らせ

- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのEメール受信を拒否する設定を行っている場合、Eメールを受信できません。

Eメールを受信する

1 ホーム画面で

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、[受信トレイ] ▶ 受信するEメールアカウントをタップします。

2 受信トレイで

3 読みたいEメールをタップ

メール本文のプレビューを表示する

1 ホーム画面で

2 ▶ [設定] ▶ [プレビュー表示]

3 プレビュー表示する画面にチェックを入れる ▶ [OK]

💡お知らせ

- 複数のアカウントを登録している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。

Eメールの添付ファイルを保存する

1 ホーム画面で

2 添付ファイル付きのEメールをタップ

- 添付ファイルがダウンロードされていない場合は、[読込] をタップします。

3 保存するファイルの [保存]

- 添付ファイルは内部ストレージに保存されます。

Eメールを返信／転送する

1 ホーム画面で

2 返信または転送するEメールをタップ ▶ [返信] / [全員に返信] / [転送] のいずれかをタップ

- [転送] をタップした場合は、転送先のEメールアドレスを入力します。

3 本文を入力

4 [送信]

💡お知らせ

- Eメールを転送すると、元のEメールの添付ファイルが添付されます。添付ファイルを削除するには、 をタップします。

Eメールを削除する

1 ホーム画面で

2 削除するEメールをロングタッチ

3 ▶ [削除]

Eメールアカウントの設定を変更する

1 ホーム画面で

2 ▶ [設定]

3 設定を変更するEメールアカウントをタップ ▶ Eメールアカウントの設定操作を行う

💡お知らせ

- 「通知」の「バイブレーション」をオンにしても、マナーモード（ミュート）に設定中はEメールを受信しても振動しません。

Gmail

Gmailを使用してEメールを送受信できます。

- Gmailについて詳しくは、ホーム画面で  ► [Gmail] ► 画面の左端を右にフリック ► [ヘルプ] をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面で  ► [Gmail]
- 2  (新規作成)
- 3 送信相手のEメールアドレスを入力
 - CcまたはBccを追加する場合は、[CC／BCCを追加] をタップします。
- 4 件名や本文を入力
- 5 [送信]

Gmailを受信する

- 1 ホーム画面で  ► [Gmail]
- 2  ► [更新]
- 3 読みたいEメールをタップ

Google Chrome

Google Chromeを利用し、ウェブページを閲覧できます。

- Google Chromeについて詳しくは、ホーム画面で [Chrome] ►  ► [ヘルプとフィードバック] をタップしてGoogle Chromeのヘルプをご覧ください。

ウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で  ► [Chrome]
 - 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 画面上部のウェブページのアドレス入力欄をタップ
- 3 ウェブページのアドレスまたは検索する語句を入力
 - アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。
- 4 表示された候補の一覧またはソフトウェアキーボードの [実行]

ウェブページをブックマークする

- 1 ホーム画面で  ► [Chrome] ► ブックマークするウェブページを表示
- 2 
- 3 名前や保存先フォルダを設定 ► [保存]

ブックマークを開く

- 1 ホーム画面で  ► [Chrome] ►  ► [ブックマーク]
- 2 開くブックマークをタップ

🔔お知らせ

- 手順2でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を確認する

1 ホーム画面で ► [Chrome] ► ► [履歴]

💡お知らせ

- 履歴を削除するには、履歴の一覧画面で削除したい履歴の  をタップします。
- 履歴をすべて削除するには、履歴の一覧画面で [閲覧履歴データの消去] ► 「閲覧履歴の消去」にチェックを入れる ► [クリア] をタップします。

Google Chromeの設定を変更する

検索エンジンやプライバシーなどの設定をします。

1 ホーム画面で ► [Chrome] ► ► [設定]

2 変更する項目を選択

Google Play

Google Playを利用するとアプリやゲームなどをダウンロード、インストールできます。

- Google Playをご利用するには、Googleアカウントの設定が必要となります。
- Google Playについて詳しくは、ホーム画面で  ► 画面の左端を右にフリック ► [ヘルプ] をタップしてGoogle Playのヘルプをご覧ください。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で

2 アプリを検索 ► インストールするアプリをタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

アプリを削除（アンインストール）する

1 ホーム画面で

2 画面の左端を右にフリック ► [マイアプリ]

3 削除するアプリをタップ ► [アンインストール] ► [OK]

- 有料アプリを削除する場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。

Google Play利用上のご注意

- ダウンロードの操作を行うと、このアプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

FMラジオ

- FMラジオをご利用になる場合は、市販のイヤホンやヘッドホンを接続してください。受信アンテナとして機能します。

FMラジオを聴く

1 市販のイヤホンやヘッドホンの接続プラグをヘッドセット接続端子に接続

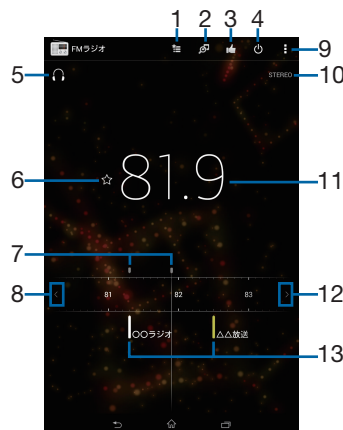
2 ホーム画面で ▶ [FMラジオ]

- ラジオの地域設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 ／をタップして選局

- 画面中央を左右にフリックして選局することもできます。
- FMラジオを終了するにはをタップします。

FMラジオ画面



- 1 お気に入りリストを表示
- 2 TrackIDを表示
- 3 TrackIDを表示してFacebookに投稿
- 4 FMラジオのオン/オフ
- 5 ヘッドホンで再生/スピーカーで再生
- 6 お気に入りの登録/編集
- 7 受信状態が良い場合に表示される帯域ポイント
- 8 左方向にチャンネルを選局
- 9 オプションメニュー
- 10 モノラル/ステレオ効果
- 11 現在聴いている放送局
- 12 右方向にチャンネルを選局
- 13 お気に入り登録した放送局

🔔お知らせ

- ホーム画面に戻って、他の操作（カメラ、Walkman®、ムービーを除く）をしながらFMラジオをバックグラウンドで聴くことができます。FMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で▶ [FMラジオ] をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ▶ [FMラジオ] をタップします。
- 日本国内のFMラジオを聴取できないときは、ホーム画面で▶ [FMラジオ] ▶▶ [ラジオの地域を設定] ▶ [日本] をタップしてください。FMラジオを使用する際は、ご利用の地域をご確認ください。

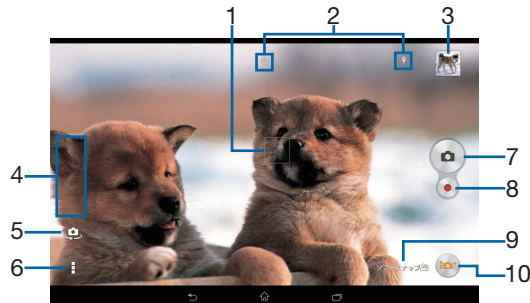
カメラ

写真や動画の撮影ができます。

カメラを起動する

1 ホーム画面で

撮影画面



- 1 オートフォーカス枠
- 2 ステータスアイコンの表示エリア
セルフタイマーやジオタグなど、設定した項目のアイコンが表示されます。
- 3 サムネイル
タップすると、撮影した写真や動画の再生画面が表示されます。
- 4 設定項目アイコンの表示エリア
- 5 フロントカメラ切り替えアイコン
- 6 オプションメニュー
- 7 シャッターアイコン（写真）／一時停止アイコン（動画）
- 8 撮影開始／停止アイコン（動画）
- 9 シーン認識アイコン
撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合、カメラが判断したシーンのアイコンが表示されます。
また、カメラが移動している状態、カメラが固定されている状態、被写体が動いている状態を検出するとアイコンが表示されます。
- 10 撮影モードアイコン

お知らせ

- ・撮影画面でピンチアウト／インすると、ズームイン／アウトできます。また、お買い上げ時は音量キーを押してもズームイン／アウトできます。
- ・撮影モードを「ARエフェクト」や「スイングパノラマ」などに設定している場合やフロントカメラでの撮影時は、ズームを使用できません。

クイック起動を利用する

ロック画面で $\blacksquare$ をロングタッチして $\blacksquare$ までドラッグしたときの動作（クイック起動）を設定することで、ロック画面からカメラを起動して撮影することができます。

- ・お買い上げ時は「起動のみ」に設定されています。

1 ホーム画面で

2 $\blacksquare$ ▶「 $\blacksquare$ 」タブをタップ▶【クイック起動】

3 【起動のみ】／【起動&静止画撮影】／【起動&動画撮影】のいずれかをタップ

- ・クイック起動を解除するには、[OFF] をタップします。

写真を撮影する

- 写真撮影は縦画面と横画面のどちらでも撮影できます。

シャッターアイコンで撮影する

1 ホーム画面で

2

- オートフォーカス機能で撮影するときは、をロングタッチし、オートフォーカス枠が青色に変わってピピッと音が鳴ったら指を離してください。指を離すとすぐに写真が撮影されます。

「タッチ撮影」で撮影する

- 撮影モードを「プレミアムおまかせオート」「マニュアル」「サウンドフォト」「タイムシフト連写」「スイングパノラマ」に設定しているときに操作できます。「タッチ撮影」をオンに設定してから撮影します。

1 ホーム画面で

2 撮影モードアイコンをタップして撮影モードを選択

3 ▶「」タブをタップ▶「タッチ撮影」の をタップまたは右にドラッグ▶

4 撮影画面をタップ

- オートフォーカス機能で撮影するときは、画面をタップすると、指を離した後にオートフォーカス枠が青色に変わってピピッと音が鳴り、写真が撮影されます。

動画を撮影する

- 動画撮影は横画面での撮影に適しています。

撮影開始／停止アイコンで撮影する

1 ホーム画面で

2 をタップして撮影を開始▶ をタップして撮影を停止

- 撮影モードを「マニュアル」に設定している場合は、 をタップして動画撮影画面を表示してから  をタップします。
-  /  をタップすると録画を一時停止／再開できます。

「タッチ撮影」で撮影する

- 撮影モードを「マニュアル」に設定しているときに操作できます。「タッチ撮影」をオンに設定してから撮影を開始します。

1 ホーム画面で

2 撮影モードアイコンをタップして撮影モードを選択

- 撮影モードを「マニュアル」に設定している場合は、 をタップして動画撮影画面を表示します。

3 ▶「」タブをタップ▶「タッチ撮影」の をタップまたは右にドラッグ▶

4 撮影画面をタップして撮影を開始／停止

💡お知らせ

- 動画撮影中に📷をタップすると写真を撮影できます。撮影される画像サイズは、ビデオ解像度の設定により異なります。
フルHD：2メガピクセル（1920×1080）、縦横比16:9
HD：1メガピクセル（1280×720）、縦横比16:9
VGA：640×480ピクセル、縦横比4:3

顔検出を使用して撮影する

中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合は、自動で顔検出を行います。「マニュアル」に設定している場合は、「フォーカスモード」を「顔検出」に設定してから撮影を開始します。

1 ホーム画面で📷

2 撮影モードアイコンをタップ▶【マニュアル】

- 動画を撮影する場合は、📹をタップして動画撮影画面を表示します。

3 📷▶「📷」タブ／「📹」タブをタップ▶【フォーカスモード】▶【顔検出】▶🔄

4 カメラを被写体に向ける

- 検出した顔にオートフォーカス枠が表示されます（最大で5つ）。

5 ピントを合わせるオートフォーカス枠をタップするか、タップせずにピントを合わせる顔をカメラに選ばせる

- ピントを合わせる顔のオートフォーカス枠が黄色に変わります。

6 写真／動画を撮影

スマイルシャッターを使用して撮影する

笑った瞬間の顔を撮影できます。

1 ホーム画面で📷

2 📷▶「📷」タブ／「📹」タブをタップ▶【スマイルシャッター】／【スマイルシャッター（録画中）】

3 スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを選択▶🔄

4 カメラを被写体に向ける

- 動画撮影時は、動画撮影を開始してください。
- 検出した顔にオートフォーカス枠が表示されます（最大で5つ）。
- カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のオートフォーカス枠が黄色（写真撮影時）／青色（動画撮影時）に変わります。

5 ピントを合わせる顔が笑うと、カメラが自動的に写真を撮影

撮影モードを変更する

1 ホーム画面で

2 撮影モードアイコンをタップ▶ 撮影モードを選択

プレミアムおまかせオート

自動的に最適化された設定で写真や動画を撮影します。

カメラが移動している状態 ()、カメラが固定されている状態 ()、被写体が動いていること () を検出し、最適なシーンを判断します。

「ソフトスナップ」「風景」「逆光」「逆光&人物」「夜景」「夜景&人物」「ドキュメント」「マクロ」「低照度」「赤ちゃん」「スポットライト」からシーンが認識され、アイコンが表示されます。

マニュアル

写真や動画の撮影設定を手動で変更できます。

サウンドフォト

撮影時の自然な会話や音を、写真とともに残すことができます。

ARファン

仮想の物体と一緒に撮影することで、写真や動画をさらに楽しく撮影できます。

マルチカメラ

友達のカメラとつないでマルチビューの写真や動画を撮影できます。

フェイスインピクチャー

メインカメラ、フロントカメラで自分の顔と一緒に写真や動画を撮影できます。

Live on YouTube

YouTubeに動画をライブでブロードキャストします。

ARエフェクト

恐竜時代や海の中など、仮想世界に入って写真や動画を撮影できます。

クリエイティブエフェクト

さまざまな撮影効果をかけて印象的な写真や動画を撮影できます。

タイムシフト連写

シャッター前後の連写画像から、ベストな瞬間を選択できます。シャッター前後の1秒間の写真が合計61枚連続撮影され、写真はすべて保存されます。撮影後のプレビュー画面でサムネイルから選択した写真は、「アルバム」アプリで表示されるカバー画像になります。

Social live by Bambuser

Facebook上で友達とリアルタイムで体験を共有できます。

スイングパノラマ

タブレットデバイスを動かしてパノラマ写真を撮影できます。

撮影画面に表示される白い枠の中心線に矢印を合わせながら、タブレットデバイスをゆっくり動かして撮影します。

🔔 お知らせ

- 撮影モード選択画面で「+アプリ」または「ダウンロード」タブをタップすると、カメラアプリをダウンロードして撮影モードに追加することができます。
- 「マルチカメラ」で他の機器に接続すると、他のWi-Fi Direct接続は切断されますのでご注意ください。
- 「マルチカメラ」で接続可能な台数は、自分のXperia™を含めXperia™3台までです。また、ソニー製のWi-Fi/NFC搭載のカメラと接続する場合は、自分のXperia™とソニー製のカメラ1台のみです。なお、状況によっては、他の機器との接続や接続後の撮影ができない場合があります。

撮影時の設定を変更する

オプションメニューから設定を変更する

1 ホーム画面で

2 ▶「」タブ／「」タブ／「」タブのいずれかをタップ

- ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

縦横比（写真撮影時のみ）	撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合に、写真の縦横比を16:9または4:3に設定します。
解像度（写真撮影時のみ）	写真の解像度を設定します。 ・撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合は「8MP」（4:3）／「6MP」（16:9）で撮影されます。 ・撮影モードを「サウンドフォト」に設定している場合は「6MP」（16:9）で撮影されます。 ・撮影モードを「ARファン」「マルチカメラ」「フェイスインピクチャー」「ARエフェクト」「クリエイティブエフェクト」「タイムシフト連写」に設定している場合は「2MP」（16:9）で撮影されます。
ビデオ解像度（動画撮影時のみ）	動画の解像度を設定します。 ・撮影モードを「プレミアムおまかせオート」「マルチカメラ」「フェイスインピクチャー」「クリエイティブエフェクト」に設定している場合は「フルHD」（16:9）で撮影されます。 ・撮影モードを「ARファン」「ARエフェクト」に設定している場合は「HD」で撮影されます。
セルフタイマー	設定した秒数が経過した後に撮影します。 ・写真撮影時は、手ブレを防止するためにセルフタイマーを使用することをおすすめします。
スマイルシャッター／スマイルシャッター（録画中）	スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します。
フォーカスモード	ピントの合わせかたを設定します。 シングルオートフォーカス ：撮影画面の中央に自動的にピントを合わせます。 マルチオートフォーカス（写真撮影時のみ） ：撮影画面の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。  や撮影画面をタップ／音量キーを押してピントが合った箇所は、オートフォーカス枠が白色から青色に変わります。 顔検出 ：複数の顔を検出して、顔にピントを合わせます。 タッチフォーカス（写真撮影時のみ） ：撮影画面でタップした箇所にオートフォーカス枠が移動し、ピントを合わせます。 追尾フォーカス ：被写体を追尾してピントを合わせます。
HDR／HDRビデオ	ハイダイナミックレンジ機能を使用し、逆光などの明暗に差のある状況でも見た目に近い自然な印象で撮影できるようにするかどうかを設定します。
ISO（写真撮影時のみ）	ISO感度を設定します。 ・ISO感度を上げると、光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できます。ただし、ノイズが目立ちます。 ・ISO感度を下げると、ノイズが目立たなく撮影できます。ただし、光量の少ない場所では暗く、手ブレしやすくなることがあります。

測光	撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。 顔：顔を検出して測光し、適度な明るさになるように露出を調整します。 マルチ：画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって露出を調整します。 中央：撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。 スポット：撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。
手ブレ補正／電子式手ブレ補正	撮影時の手ブレを軽減するかどうかを設定します。 インテリジェントアクティブ（動画撮影時のみ）：ズームや、歩きながらの撮影時などの手ブレを軽減できます。 スタンダード（動画撮影時のみ）：通常撮影時の手ブレを軽減できます。
美肌効果（フロントカメラでの写真撮影時のみ）	人物の肌をなめらかに補正して撮影するかどうかを設定します。
プレビュー	撮影した直後にプレビューを表示する時間を設定します。 ・「編集」に設定すると、撮影直後に編集画面が表示されます。
長押し連写（写真撮影時のみ）	をロングタッチして連写撮影をするかどうかを設定します。 撮影モードが「プレミアムおまかせオート」でメインカメラの場合は、被写体の動く速さに応じて「速度優先連写」または「画質優先連写」を選択します。 ・「タッチ撮影」がオンの場合は、撮影画面をロングタッチしても長押し連写ができます。
個人顔登録（写真撮影時のみ）	「アルバム」アプリでタグ付けされた顔に名前を表示し、優先してピントを合わせるかどうかを設定します。
マイク（動画撮影時のみ）	動画撮影時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。
クイック起動	クイック起動利用時の動作を設定します。
ジオタグ	写真／動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けるかどうかを設定します。 ・オンに設定すると、撮影画面に  が表示されているときに位置情報が付加されます。 ・位置情報取得中は  が表示されます。位置情報取得中に撮影をしても、ジオタグは付加されません。
タッチ撮影	撮影画面をタップして撮影できるようにするかどうかを設定します。
音量キー設定	音量キーに割り当てる機能を設定します。 設定を変更することで音量キーをシャッターキーとして使用し撮影をすることなどができます。
保存先	撮影した写真／動画の保存先を設定します。
Touch Block	Touch Block（タッチブロック）機能を設定します。撮影画面を表示した状態で触っても、タッチパネルが反応しないようにすることができます。

🔔 お知らせ

- ・撮影モードによって表示される設定項目は異なります。
- ・設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

画面のアイコンから設定を変更する

撮影画面に表示されるアイコンをタップして設定を変更します。

・シーンセレクション

撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。

-  OFF：シーン設定をしないで撮影します。
-  美肌：人物の肌をなめらかに補正して撮影します。
-  ソフトスナップ：人物の肌を明るくきれいに撮影します。
-  人物ブレ軽減：室内の人物撮影でブレを軽減します。
-  風景：青空や草木の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。
-  逆光補正HDR：ハイダイナミックレンジ機能で逆光を補正します。
-  夜景&人物：夜景を背景にした人物の撮影に適しています。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。
-  夜景：夜景をきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。
-  手持ち夜景：手ブレを抑えて夜景をきれいに撮影します。
-  高感度：暗いところでも明るく撮影します。
-  料理：料理を明るく美味しそうに撮影します。
-  ペット：ペットの撮影に適しています。
-  ビーチ：ビーチを明るく鮮やかに再現します。
-  スノー：雪景色を明るく鮮やかに再現します。
-  パーティー：室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。
-  スポーツ：動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのブレを最小限に抑えます。
-  ドキュメント：文字や図の撮影に使用します。文字をくっきりと明るく、読みやすく撮影します。
-  打ち上げ花火：打ち上げ花火をきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。

・ 明るさ (EV補正)・ホワイトバランス

明るさ（露出補正）は、バーをタップまたはドラッグして調整します。

ホワイトバランスは、周囲の光源に合わせて設定を変更します。

-  自動：周囲の光源に合わせて自動的に調整します。
-  電球：電球のような照明に合わせて調整します。
-  蛍光灯：蛍光灯のような照明に合わせて調整します。
-  太陽光：日なたでの撮影に合わせて調整します。
-  曇り：曇り空や日陰に合わせて調整します。

・撮影方向

スイングパノラマ®の撮影方向を設定します。

-  右：左から右へ撮影します。
-  左：右から左へ撮影します。
-  下：上から下へ撮影します。
-  上：下から上へ撮影します。

💡お知らせ

- ・撮影モードによって表示されるアイコンは異なります。

カメラに関するご注意

- ・タブレットデバイスで撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けてください。
- ・タブレットデバイスの温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。
- ・市販のイヤホン、または他のBluetooth機器などと接続しているときは、シャッター音や撮影開始／停止音が通常より小さくなる場合があります。
- ・解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリー容量が必要になります。

写真撮影について

- ・オートフォーカス枠が表示されない場合は、オートフォーカスが失敗しています。
- ・ISO感度を上げると、光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できます。ただし、ノイズが目立ちます。
ISO感度を下げると、ノイズが目立たなく撮影できます。ただし、光量の少ない場所では暗く、手ブレしやすくなる場合があります。

動画撮影について

- ・動画撮影時は、マイクを指などでふさがないようにしてください。

スイングパノラマ撮影について

- ・スイングパノラマは横画面で撮影します。
- ・動きのある被写体や背景などは、スイングパノラマ撮影に適していません。
- ・一定時間内にスイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- ・複数の画像を合成するため、つなぎ目がなめらかに記録できない場合があります。
- ・暗いシーンでは画像がブレる場合や、撮影ができない場合があります。
- ・蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- ・スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。
- ・カメラを動かす速度が速すぎる場合や遅すぎる場合、カメラを撮影方向と逆に動かした場合などは、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。

著作権・肖像権について

- ・お客様がタブレットデバイスで撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
- ・カメラ付きタブレットデバイスを利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
- ・お客様がタブレットデバイスを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

アルバム

写真や動画を閲覧・再生できます。

写真を再生する

1 ホーム画面で【アルバム】

- ・画像が時系列で一覧表示されます。

2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示

3 カテゴリーを選択▶写真をタップ

- ・画面をタップすると、撮影日時などの情報やオプションメニューのアイコンなどが表示されます。



- 1 画像一覧画面に戻る
- 2 共有メニュー
- 3 オプションメニュー
- 4 位置情報
タップするとジオタグを付加できます。
- 5 撮影日時
- 6 お気に入りに登録／解除
- 7 写真进行操作
 - ：写真を編集
 - ：連写ファイルをスライドショー再生
 - ：タイムシフト連写ファイルを確認
- 8 削除

🔔お知らせ

- ・選択したファイルにより表示される項目は異なります。

オプションメニューを利用する

スライドショー再生や画像ファイルの編集などができます。

1 写真再生画面で項目进行操作

🔔お知らせ

- ・「Throw」を使うとワイヤレスで写真や動画を他の機器で再生できます。
- ・選択した画像ファイルによっては、表示されるメニューが異なる場合や、操作できない場合があります。
- ・著作権保護技術（DRM）で管理されたコンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

アルバムの動画を再生する

1 ホーム画面で【アルバム】

2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示

3 カテゴリーを選択▶動画をタップ▶

4 アプリを選択

- ・以降の操作は、選択したアプリにより異なります。画面の指示に従って操作してください。

ムービー

Video Unlimitedでダウンロードした作品や、PCなどから転送した動画、タブレットデバイスのカメラで撮影した動画などを再生できます。

動画を再生する

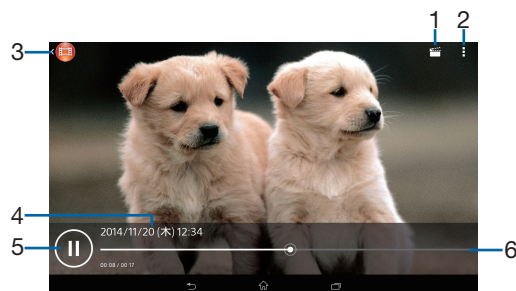
1 ホーム画面で【ムービー】

2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示

3 カテゴリーを選択▶動画をタップ

- 画面をタップすると、ファイル名または撮影日時などの情報や、オプションメニューのアイコンなどが表示されます。

動画再生画面



- 1 動画を編集
- 2 オプションメニュー
- 3 動画再生前に戻る
もう一度タップすると動画一覧画面に戻ります。
- 4 動画ファイル名／撮影日時
- 5 再生／一時停止
- 6 プログレスバー
プログレスバー上をタップしたり、マーカーを左右にドラッグして再生位置を変更できます。

💡お知らせ

- 動画再生中に音量キーを押すと音量を変更できます。

オプションメニューを利用する

再生オプションや画面設定、ムービー設定などができます。

1 動画再生画面で⌵▶項目を操作

💡お知らせ

- 「Throw」を使うとワイヤレスで動画を他の機器で再生できます。
- 選択した動画ファイルによっては、表示されるメニューが異なる場合や、操作できない場合があります。
- 著作権保護技術（DRM）で管理されたコンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードができます。

- YouTubeについて詳しくは、ホーム画面で  ▶ [YouTube] ▶  ▶ [ヘルプ] をタップしてYouTubeのヘルプをご覧ください。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で ▶ [YouTube]

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 動画をタップ

-  をタップすると動画を検索できます。

🔔お知らせ

- 検索履歴を消去するには、手順2で  ▶ [設定] ▶ [検索] ▶ [検索履歴を消去] ▶ [OK] をタップします。

Walkman®

Walkman®を使用すると、音楽を聴くことができます。

楽曲データを再生する

1 ホーム画面で [Walkman]

2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示

3 カテゴリーを選択 ▶ 再生する楽曲を選択

🔔お知らせ

- バックグラウンド再生中に楽曲再生画面に戻るには、ホーム画面で [Walkman] をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ ▶ 再生中の曲名をタップします。
- ハイレゾ・オーディオ音源は対応のヘッドホンを使用するか、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [音設定] ▶ [オーディオ設定] ▶ 「USB経由のハイレゾオーディオ」にチェックを入れて対応機器を使用すると、ハイレゾ・オーディオとして再生できます。
- 通常の楽曲データをハイレゾ・オーディオ相当で再現するには、楽曲再生画面で  ▶ [設定] ▶ [サウンドエフェクト] ▶ [サウンドエフェクト] ▶ 「DSEE HX」にチェックを入れてください。対応ヘッドホン使用時のみ再現されます。

オプションメニューを利用する

楽曲情報の編集や再生に関する設定などができます。

1 楽曲再生画面で ▶ 項目を操作

プレイリストを再生する

1 カテゴリー一覧で [プレイリスト]

2 プレイリストを選択 ▶ 楽曲を選択

選択した楽曲から再生されます。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetoothやメール添付などで送信することができます。

1 カテゴリー一覧でカテゴリーを選択

2 送信する楽曲をロングタッチ▶【共有】

3 アプリを選択

- ・以降の操作は、選択したアプリにより異なります。画面の指示に従って操作してください。

🔔お知らせ

- ・著作権保護技術（DRM）で管理されたコンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

Google マップ

Google マップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索などができます。

- ・Google マップは、一部の国や地域を対象としていない場合があります。

1 ホーム画面で📍▶【マップ】

- ・メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

🔔お知らせ

- ・現在地を特定するには、位置情報を有効にする必要があります（P.56）。
- ・利用方法などの詳細については、マップ画面で画面の左端を右にフリック▶【ヘルプ】をご覧ください。

GPS機能について

タブレットデバイスには、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。

現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分たっても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部を覆わないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- ・GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・タブレットデバイスの故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・タブレットデバイスは、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ・タブレットデバイスは、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- ・各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
- ・GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、建物や自動車の中や高圧線の近くなどの条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
- ・当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

カレンダー

カレンダーを表示する

- 1 ホーム画面で 
- 2 画面の左端を右にフリック▶【年】／【月】／【週】／【日】のいずれかをタップ
 - ・カレンダー部分を左右にフリックすると、前後の年、月、週、日を表示します。

カレンダーの予定を作成する

- 1 ホーム画面で 
- 2 予定を作成する日付／時間をタップ▶【予定を作成】▶項目を入力
 - ・【その他】をタップすると、詳細な設定項目が表示されます。
- 3 【完了】

🔔お知らせ

- ・予定の通知を設定している場合は、通知時刻になるとステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶【スヌーズ】／【解除】をタップすると、スヌーズの設定や通知の解除ができます。

カレンダーの予定を表示する

- 1 ホーム画面で ▶予定のある日付／時間を表示
 - ・ホーム画面で ▶画面の左端を右にフリック▶【予定リスト】をタップすると、予定の一覧を表示します。
- 2 詳細を表示する予定をタップ

🔔お知らせ

- ・予定を削除するには、手順2で削除する予定をロングタッチ▶【予定を削除】▶【削除】をタップします。
- ・すべての予定を削除するには、ホーム画面で ▶▶【設定】▶【すべての予定を削除】▶【削除】をタップします。

カレンダーの予定を検索する

- 1 ホーム画面で 
- 2 ▶【検索】
- 3 キーワードを入力
- 4 ソフトウェアキーボードの 

カレンダーを同期する

- ・同期するには、Googleアカウントの設定が必要となります。

- 1 ホーム画面で 
- 2 画面の左端を右にフリック
- 3 同期するカレンダーにチェックを入れる

アラームと時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

アラームを設定する

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計]
- 2  ► 時間などを設定
- 3 [完了]

🔔お知らせ

- ・アラームを削除するには、手順2で  ► [アラームを削除] ► 削除するアラームにチェックを入れる ► [削除] ► [はい] をタップします。

アラームのオン／オフを切り替える

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計]
- 2 オン／オフを切り替えたいアラームの  /  をタップまたは右／左にドラッグ

アラーム音を止める

- 1 アラームが鳴っているときに  を右にドラッグ

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時などを表示できます。

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計] ► 「」タブをタップ
- 2  ► 追加する都市を選択

🔔お知らせ

- ・サマータイム期間中の時刻表示は、手順2の都市を選択する画面で表示される時差表示とは異なる場合があります。
- ・都市を削除するには、手順2で  ► [削除] ► 削除する都市にチェックを入れる ► [削除] ► [はい] をタップします。

ストップウォッチを利用する

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計] ► 「」タブをタップ
- 2 [開始]
- 3 [停止]
 - ・[リセット] をタップすると、計測した時間やラップタイムを消去します。

タイマーを利用する

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計] ► 「」タブをタップ
- 2 [時間設定]
- 3 数字を上下にドラッグして時間を合わせる ► [OK]
- 4 [開始]
- 5 [停止]

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を確認、設定します。ネットワークの設定やタブレットデバイスのカスタマイズ、セキュリティの設定、アカウントの設定、タブレット情報の確認などができます。

1 ホーム画面で ► [設定]

無線とネットワーク

- 「Bluetooth」について→P.64
- 「NFC」「Androidビーム」について→P.65

Wi-Fi

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 無線LAN機器とBluetooth機器の位置を離してください。必要な距離は機器によって異なります。
- 改善しない場合はBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

1 ホーム画面で ► [設定] ► 「Wi-Fi」の をタップまたは右にドラッグ

- Wi-Fiがオンになるまで、数秒かかる場合があります。

⚡お知らせ

- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ► [設定] ► [Wi-Fi]

2 接続したいWi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されている場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力 ► [接続] をタップします。
- WPS対応機器で接続する場合は、 をタップするか、 ► [WPS PIN入力] をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- 手動でスキャンする場合は、 ► [スキャン] をタップします。

⚡お知らせ

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にならない場合があります。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続されました」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。Wi-Fiネットワークに接続操作をしてから、接続結果のメッセージが表示されるまでに5分以上かかる場合があります。

接続中のWi-Fiネットワークの設定を削除する

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]
- 2 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップ ► [設定を削除]

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

・あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります。

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]
- 2  ► 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 「セキュリティ」の設定項目をタップ ► 追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップ
- 4 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力
- 5 [保存]

Wi-Fiネットワークの詳細を設定する

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]

- 2  ► [詳細設定]

・表示される画面の項目をタップして設定してください。

ネットワークの通知	Wi-Fiオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。 ・あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります。
スリープ時のWi-Fi接続	画面のバックライトが消灯したときにタブレットデバイスのWi-Fi機能がオフになるように設定します。
スキャンを常に実行する	Wi-Fiがオフの場合に、Googleの位置情報サービスと他のアプリでネットワークをスキャンするかどうかを設定します。
証明書のインストール	証明書をインストールします。
Wi-Fi最適化	Wi-Fiがオンのときに電池消費を抑えるかどうかを設定します。
Auto IPの使用	Auto IP機能のオン／オフを切り替えます。
Passpoint	利用可能なPasspointネットワークに自動接続するかどうかを設定します。
Passpointネットワーク	Passpointネットワークを設定します。
MACアドレス	MACアドレスを確認します。
IPアドレス	IPアドレスを確認します。

Wi-Fi Direct対応機器を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct機能に対応した機器間で直接Wi-Fi接続ができます。

・あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります。

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]

- 2  ► [Wi-Fi Direct]

- 3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択

- ・[機器の検索] をタップすると、検出一覧を更新できます。
- ・検出されたWi-Fi Direct対応機器側で表示されるタブレットデバイスの名前を変更するには、[機器名を変更] をタップします。

🔦お知らせ

- ・Wi-Fi Direct機能は、対応したアプリをインストールすることで利用可能となります。

データ使用

データの測定期間を設定する

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】**

2 「データ使用周期」の設定項目をタップ▶期間をタップ

オプションメニューを利用する

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】** ▶ 

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

データの自動同期	→P.59
モバイルアクセスポイント	特定のWi-Fiネットワークの利用を制限するように設定できます。

Xperia™接続設定

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】**

2 **【Xperia™接続設定】**

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

ワンタッチ設定	タブレットデバイスとXperia™機器（Android4.4以降）の2台を一緒に使うときに便利な設定をワンタッチで行います。
Throw設定	タブレットデバイスのコンテンツを他の機器で再生します。
スクリーンミラーリング	スクリーンミラーリングに対応したテレビやタブレットに接続し、タブレットデバイスの画面を表示します。また、スクリーンミラーリングに対応したXperia™などの画面をタブレットデバイスに表示します。
画面のキャスト	Google Cast対応機器にタブレットデバイスの画面を表示します。
メディアサーバー設定	→P.69
ワイヤレスコントローラー（DUALSHOCK®シリーズ）	DUALSHOCK®シリーズワイヤレスコントローラーをタブレットデバイスに接続します。
MirrorLink™	microUSBケーブルを使用して、MirrorLink™ 認定の車載機器からタブレットデバイスを操作できるように設定します。 • 著作権保護されたデータは表示できません。
USB接続設定	microUSBケーブルで接続するときのUSB接続モードなどの設定を変更します。

🔦お知らせ

- スクリーンミラーリングはWi-Fi CERTIFIED Miracast™に準拠しています。使用環境によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。Bluetooth／Wi-Fi／GPSアンテナ部付近を手で覆うと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。

機内モード

インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他の設定]

2 「機内モード」にチェックを入れる

- ・機内モードをオンに設定すると、ステータスバーに  が表示されます。

🔔お知らせ

- ・  を1秒以上押す ▶ [機内モード] をタップしても、機内モードのオン／オフを設定できません。
- ・機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、NFC機能をオンにすることができません。電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能は使用しないでください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

- ・タブレットデバイスからVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、次のホームページをご覧ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

VPNを追加する

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他の設定] ▶ [VPN]

- ・注意文が表示された場合は、画面の指示に従って画面ロックの解除方法を設定してください。

2

3 編集画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定

4 [保存]

🔔お知らせ

- ・VPNを編集／削除するには、VPNをロングタッチ ▶ [プロフィールを編集] ／ [プロフィールを削除] をタップします。

VPNに接続する

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他の設定] ▶ [VPN]

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力 ▶ [接続]

- ・VPNに接続すると、接続中を示す  がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 VPN接続中を示す通知をタップ

3 [切断]

機器

個人設定

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [個人設定]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

テーマ	ホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを変更します。
壁紙	ホーム画面の壁紙を変更します。
ロック画面	ロック画面の壁紙を変更します。
表示された通知を削除	通知パネルを開いたときに、ステータスバーから通知アイコンを削除するかどうかを設定します。
通知の管理	通知パネル内の通知を表示するアプリを選択します。
ステータスバーアイコン	ステータスバーに表示するステータスアイコンを選択できます。

ホーム

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [ホーム]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

シンプルホーム	ホーム画面をシンプルホームに設定します。
Xperia™ ホーム	ホーム画面をXperia™ ホームに設定します。

音設定

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [音設定]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

オーディオ設定	サウンドに関する設定を行います。
音量	メディア再生音、通知、アラームの音量を調節します。 アラームの音量は「アラームと時計」アプリの設定が優先されます。
通知音	通知音を変更します。
タッチ操作音	メニューを選択したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロック解除時の音	画面ロックの解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
操作時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、タブレットデバイスを振動させるかどうかを設定します。
起動音	電源を入れたときに音を鳴らすかどうかを設定します。

画面設定

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [画面設定]

- ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

高画質モード	写真やムービーを鮮明に高画質で表示するよう設定します。なお、静止画の画質改善処理は「アルバム」アプリでの表示に限ります。 ・「X-Reality for mobile」を選択した場合は、模様や輪郭を強調し、きめ細やかな質感や鮮鋭感を再現します。 ・「ダイナミックモード」を選択した場合は、色を強調することで、めりはりのある鮮やかな画像になります。
手ぶくろモード	タッチ感度を上げて、手袋をしている状態でもタッチ操作ができるように設定します。 ・手ぶくろモードをオンにして手袋で画面に触れると、触れた箇所にリングが表示されます。 ・手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
画面の明るさ	画面の明るさを調整します。 ・「明るさを自動調整」にチェックを入れると、手動で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調整します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを調整します。 ・「ここを長押しすると以前の設定が確認できます」と表示された部分をロングタッチすると、調整前の設定を確認することができます。
画面回転	タブレットデバイスの向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定します。
スリープ	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
スマートバックライト	タブレットデバイスを手に持って使用している間、タッチ操作をしていない状態でもバックライトが消灯しないように設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。 ・  をタップするとテーマを変更できます。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
タップして起動	バックライト消灯時に画面をダブルタップして、バックライトを点灯するかどうかを設定します。
通知LEDでお知らせ	メールの受信などを通知LEDの点滅でお知らせするかどうかを設定します。

ストレージ

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [ストレージ]

- ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

機器メモリー	合計容量：内部ストレージの空き容量などを確認します。
SDカード	合計容量：microSDカードの空き容量などを確認します。
	SDカードのマウント解除：microSDカードの認識を解除して安全に取り外します。
	SDカードをマウント：microSDカードを認識させます。
	SDカード内データを削除：microSDカードをフォーマットして内容をすべて消去します。

外部USBストレージ	合計容量：USBストレージの空き容量などを確認します。
	USBストレージのマウント解除：USBストレージの認識を解除して安全に取り外します。
	USBストレージをマウント：USBストレージを認識させます。
	USBストレージ内データ削除：USBストレージをフォーマットして内容をすべて消去します。
その他	SDカードへデータ転送：機器メモリー（内部ストレージ）のデータをmicroSDカードへ転送します。
	リモートシェア：自宅のNASなどのリモートサーバーにあるファイルを、タブレットデバイスにあるファイルと同様に扱うことができるように設定します。

💡お知らせ

- ・ microSDカードやUSBストレージの認識状態により表示される項目は異なります。

電源管理

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [電源管理]

- ・ 表示される画面の項目をタップして設定してください。

STAMINAモード	画面のバックライト消灯中にアプリの動作を制限して電池の消費を抑えるかどうかを設定します。 ・ STAMINAモードの設定に連動して、「残り待ち受け時間（見込み）」に残りの待受時間の目安が表示されます。
低バッテリーモード	電池残量が少ないときに一部機能を無効にして節電を行うかどうかを設定します。
バックグラウンドデータのキュー	画面のバックライトが消灯したときに一定間隔でデータを送信し、電池の持ちを良くします。
アプリの電力消費について	使用していないアプリの動作を管理して、電池の消費を抑えることができます。
電池使用量	電池残量、電池使用量などを表示します。

アプリ

インストールされたアプリの管理や削除、メモリーの使用状況などを表示したり、設定を変更したりできます。

アプリ情報を管理する

1 ホーム画面で ► [設定] ► [アプリ]

2 管理したいアプリをタップ

- ・ アプリのデータを削除する場合は、[データを削除] ► 注意文を確認して [OK] をタップします。
- ・ [キャッシュを削除] をタップしてキャッシュを削除したり、[標準設定をクリア] をタップしてアプリの起動時の設定を削除してお買い上げ時の状態に戻したりすることもできます。

アプリを強制終了する

1 ホーム画面で ► [設定] ► [アプリ]

2 強制終了したいアプリをタップ

3 [強制終了] ► 注意文を確認して [OK]

アプリを削除（アンインストール）する

- 削除（アンインストール）する前にアプリに保存されているデータも含めて、保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。

1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【アプリ】**

2 削除したいアプリをタップ

3 **【アンインストール】** ▶ **【OK】**

⚡お知らせ

- プリインストールされているアプリは削除（アンインストール）できない場合があります。
- Playストアから入手したアプリはGoogle Playの画面から削除（アンインストール）することをおすすめします。

アプリを無効化する

削除（アンインストール）できない一部のアプリやサービスを無効化することができます。無効化したアプリはホーム画面やアプリ画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【アプリ】**

2 画面の右端を左にフリック▶「すべて」タブを表示

3 無効化したいアプリをタップ

4 **【無効にする】** ▶ 注意文を確認して **【OK】**

⚡お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効化（「アプリの設定をリセット」）することで正しく動作します。

アプリの設定をリセットする

すべてのアプリの無効化や、起動時の設定、バックグラウンドデータの制限などをリセットできます。

1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【アプリ】**

2 ▶ **【アプリの設定をリセット】**

3 **【設定をリセット】**

ユーザー

1 ホーム画面で ▶ **【設定】**

2 **【ユーザー】**

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

自分（所有者）	所有者（タブレットデバイス）の連絡先を作成します。
ユーザーまたはプロフィールを追加	タブレットデバイスを共有して使用するユーザーを登録します。 ユーザーを切り替えるには、ロック画面でユーザーを選択して画面ロックを解除します。

タップ&支払い

対応したアプリをインストールすると、クラウドや端末の支払い情報をアプリから管理できます。

ユーザー設定

位置情報

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [位置情報]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

位置情報	位置情報のオン／オフを設定します。
モード	位置情報を特定するモードを設定します。
最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報データを使用したアプリと、電池使用量が表示されます。
位置情報サービス	アプリに位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [セキュリティ]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

画面のロック	画面ロックの解除方法を設定します。
ロック解除感度	Bluetoothロック解除が可能になる距離を設定します。
顔認識の精度を改善	フェイスアンロックの精度を改善します。
生体検知	フェイスアンロックでの解除時に、まばたきが必要かどうかを設定します。
パターンを表示する	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック	画面のバックライトが消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック	 を押すと、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。
ロック画面でウィジェット有効	ロック画面のウィジェットを有効にするかどうかを設定します。
所有者情報	ロック画面に表示する所有者の情報を入力します。 • 「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを入れると、ロック画面に所有者の情報が表示されます。
my Xperia	タブレットデバイスを失くしたときに、位置を確認したり、データを削除またはロックするかどうかを設定します。
タブレットの暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにPINまたはパスワードの入力が必要になります。
パスワードの表示	PIN／パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
機器管理機能	デバイス管理機能を有効にするかどうかを設定します。
提供元不明のアプリ	提供元不明アプリをダウンロードする前にインストールを許可するかどうかを設定します。アプリによっては発行元が不明な場合があります。 • タブレットデバイスと個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。
アプリの確認	損害をもたらす可能性のあるアプリのインストールを禁止したり、インストール前に警告したりするかどうかを設定します。
ストレージのタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
機器メモリーかSDカードからインストール	暗号化された証明書をインストールします。

認証ストレージのデータ 削除	認証情報ストレージからすべての証明書や認証情報、VPNの設定を 削除します。
-------------------	---

！ 注意

- 表示される項目は、「画面のロック」の設定によって異なります。
- 暗号化には時間がかかります。フル充電状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで充電を継続してください。
- 暗号化を解除するには、「バックアップとリセット」の「データの初期化」でタブレットデバイスをリセットし、お買い上げ時の状態に戻す必要があります。

画面ロックの解除方法を設定する

電源を入れたり、スリープモードから復帰する際の画面ロックの解除を設定して、セキュリティを強化します。

1 ホーム画面で ► [設定] ► [セキュリティ] ► [画面のロック]

2 設定したい解除方法をタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

！ 注意

- 画面のロック解除パターン、PIN、パスワードはお忘れにならないようお気をつけください。

画面ロックをかける

⓪ を押してスリープモードにする、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、⓪ を押して画面のバックライトを点灯 ► 画面ロックの解除方法を入力します。
- 一度設定した画面ロックをかからない設定にする場合は、ホーム画面で  ► [設定] ► [セキュリティ] ► [画面のロック] ► 現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力 ► [設定しない] をタップします。

画面ロックの解除方法を忘れた場合

画面ロックの解除を5回続けて間違えると、メッセージが表示されます。[OK] をタップすると、30秒後に再試行できます。

- 画面ロックの解除方法を「パターン」に設定して、Googleアカウントを設定している場合、[パターンを忘れた場合] ► Googleアカウントとパスワードを入力 ► [ログイン] をタップして画面ロックを解除し、新しくロック解除方法を設定し直してください。

💡 お知らせ

- タブレットデバイスに複数のGoogleアカウントを設定している場合、そのいずれかのGoogleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できます。
- Googleアカウントやパスワードを忘れてしまった場合は、Googleのサイトから設定し直してください。

言語と入力

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [言語と入力]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

地域／言語	使用する言語を変更します。
現在の入力方法	入力方法を選択します。
外国語キーボード	→ P.26
中国語キーボード	
POBox Plus	
Google 音声入力	
スペルチェッカー	スペルチェックを行うかどうかを設定します。
ユーザー辞書	任意の単語を辞書に登録します。
音声検索	Google 音声検索時に使用する言語や音声出力方法、不適切な語句のブロックなどを設定します。
テキスト読み上げ	テキスト読み上げエンジンを設定したり、読み上げの速度の変更やサンプルを再生します。 • テキスト読み上げエンジンは日本語には対応していません。
ポインターの速度	マウスやトラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

◆お知らせ

- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、ホーム画面で  ►  ► 表示されるメニューで最初のアイテムを選択 ► 設定したい言語を選択 ► [OK] をタップします ([OK] は選択した言語によって異なります)。

バックアップとリセット

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [バックアップとリセット]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

データのバックアップ	アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。
データの初期化	タブレットデバイスをリセットします。ダウンロードしたアプリを含む、すべてのデータ、アカウントなどが削除され、タブレットデバイスは初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。 • 「内部ストレージ内データの削除」にチェックを入れると、「アルバム」「ムービー」などのアプリにプリインされているコンテンツもすべて削除されます。コンテンツによっては、Sony Selectから再度ダウンロードできます。 • 必ずタブレットデバイスの重要なデータをバックアップしてから、初期化を行ってください。

セットアップガイド

Wi-Fi接続やアカウントの設定などができます。

1 ホーム画面で ► [設定] ► [セットアップガイド]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウント

自動同期

オンラインサービス上の情報を同期してパソコンなどからも情報を表示、編集できます。
・あらかじめ同期するオンラインサービスのアカウントを設定しておく必要があります。

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ 「自動同期」の をタップまたは右にドラッグ ▶ [OK]

- ・アカウントによっては、同期する項目を選択することができます。
- ・アカウントによっては、自動同期がオフのときに手動で同期ができます。アカウントの種類を選択 ▶ 変更するアカウントを選択 ▶ 同期する項目にチェックを入れます。

アカウントを設定する

オンラインサービスのアカウントを設定／削除できます。

- ・設定したアカウントをタップして手動で同期したり、自動同期する項目を選択したりすることができます。

Googleアカウントを設定する

Googleアカウントを設定すると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスを利用できます。

なお、複数のGoogleアカウントを設定できます。

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Google]

2 登録ウィザードの説明に従ってGoogleアカウントを設定

🔔お知らせ

- ・「Googleサービス」画面で「Googleアカウントにデータをバックアップします。」にチェックを入れて登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウントとして登録されています。

その他のアカウントを設定する

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加]

2 追加したいアカウントの種類をタップ

- ・以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ アカウントの種類を選択 ▶ 削除したいアカウントを選択

2 ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

システム

日付と時刻

- 日付と時刻を手動で設定する場合は、あらかじめ「日付と時刻を自動設定」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [日付と時刻]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

日付と時刻を自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
日付設定	日付を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
24時間表示	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

ユーザー補助

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [ユーザー補助]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

TalkBack	ユーザー補助サービス（TalkBack）を設定します。 日本語には対応していません。
字幕	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定します。
拡大操作	画面を3回タップすると拡大／縮小するかどうかを設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくするかどうかを設定します。
画面の自動回転	タブレットデバイスの向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定します。
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するかどうかを設定します。
満充電時に音を鳴らす	充電完了時に音で通知するかどうかを設定します。
ショートカット	ショートカットを使用するかどうかを設定します。 ショートカットをオンにすると、 を1秒以上押す ► 2本の指で画面をロングタッチしてユーザー補助機能をオンにできます。
テキスト読み上げ	テキスト読み上げエンジンを設定したり、読み上げの速度の変更やサンプルを再生します。 テキスト読み上げエンジンは日本語には対応していません。
長押し感知までの時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。

◆お知らせ

- TalkBackのタッチガイド機能について
TalkBackをオンにするとタッチガイド機能もオンになります。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。
- タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法でタブレットデバイスの操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。ドラッグする場合は、一度タップしてからダブルタップして、そのまま指を離さないで目的の方向へなぞります。
- タッチガイド機能のみをオフにする場合は、ホーム画面で  ► [設定] ► [ユーザー補助] ► [TalkBack] ► [設定] ► 「タッチガイド」のチェックを外す ► [OK] をタップします。

印刷

1 ホーム画面で ► 【設定】

2 【印刷】

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

クラウド プリント	Googleクラウド プリントを使用して、タブレットデバイスから自宅や職場のプリンタに印刷できるように設定します。 • あらかじめGoogleアカウントを設定する必要があります。
-----------	--

タブレット情報

1 ホーム画面で ► 【設定】

2 【タブレット情報】

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

ソフトウェア更新	→P.78
機器診断	テストを実行して、タブレットデバイスの状態の目安や機器情報を確認できます。
機器の状態	電池の状態、電池残量などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
プロセッサ情報	
Androidバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

microSDカードとは別にタブレットデバイスの内部ストレージにデータを保存できます。アプリによっては、保存先をmicroSDカード／内部ストレージのどちらかを選択することができる場合があります。

microSDカード（外部ストレージ）

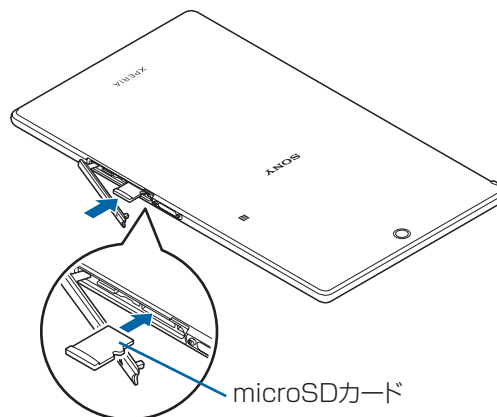
データをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをタブレットデバイスに取り込んだりできます。microSDカードは互換性のある他の機器でも使用できます。

- microSDカードは同梱されていません。必要に応じて別途ご購入ください。
- タブレットデバイスでは市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、128GBまでのmicroSDXCカードに対応しています。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、タブレットデバイスの電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。

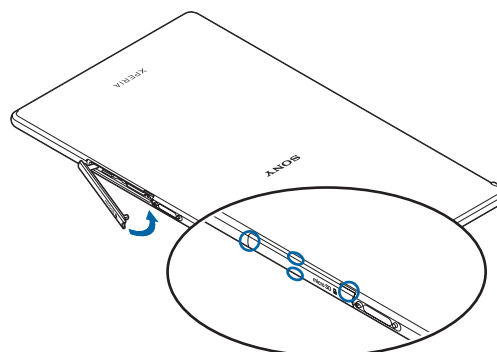
microSDカードを取り付ける

1 microSDカード挿入口カバーを開き、microSDカードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む

- microSDカードの金属端子面を下にして差し込みます。



2 microSDカード挿入口カバーを閉じて、○部分をしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認



microSDカードを取り外す

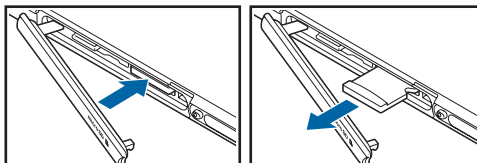
- microSDカードは、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから取り外してください。

1 ホーム画面で ▶ **【設定】 ▶ 【ストレージ】 ▶ 【SDカードのマウント解除】 ▶ 【OK】**

- マウント解除を行うと、ステータスバーに「 SDカードのマウントを解除済み」と表示され、microSDカードが読み書きできなくなったことをお知らせします。

2 microSDカード挿入口カバーを開き、microSDカードをカチッと音がするまで奥へ押し込み、ゆっくり引き抜く

- ステータスバーに「 SDカードが取り外されています」と表示されます。



3 microSDカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認

ファイル操作

「File Commander」アプリを利用して、保存されている静止画や動画、音楽など、さまざまなデータを表示・管理できます。

1 ホーム画面で ▶ **【File Commander】**

2 項目を選択 ▶ 必要に応じてフォルダをタップ

3 ファイルをタップ

- 対応するアプリでデータが表示されます。
-  をタップすると、フォルダを追加できます。フォルダ／ファイルを選択して  をタップ ▶ **【OK】** をタップすると削除できます。

フォルダまたはファイルを移動／コピーする

- フォルダまたはファイルをタブレットデバイスとmicroSDカード間でコピー／移動できます。

1 ホーム画面で ▶ **【File Commander】**

2 項目を選択 ▶ 必要に応じてフォルダをタップ

3 移動／コピーするフォルダまたはファイルにチェックを入れる

4 (切り取り) ／ (コピー)

5 任意の場所で ▶ **【貼り付け】**

データ検索

1 ホーム画面で ▶ **【File Commander】**

2 ▶ フォルダ名またはファイル名を入力

3 入力に従って表示される検索結果から、確認したいデータをタップ

Bluetooth機能

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

🔦お知らせ

- Bluetooth機能をオンにしてタブレットデバイスの電源を切ると、Bluetooth機能もオフになります。再度電源を入れると、Bluetooth機能は自動的にオンになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。

無線LAN対応機器との電波干渉について

タブレットデバイスのBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth機器と無線LAN対応機器の位置を離してください。必要な距離は機器によって異なります。
- 改善しない場合は、Bluetooth機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

タブレットデバイスを検出可能にする

- 1 ホーム画面で  ► **【設定】** ► **「Bluetooth」** の  をタップまたは右にドラッグ

- ステータスバーに  が表示されます。

2 **【Bluetooth】**

3 **タブレットデバイスのデバイス名をタップ**

🔦お知らせ

- 手順3で  をタップすると、タブレットデバイス名の変更や検出時間の設定などができます。

Bluetooth機器とペア設定（ペアリング）する

タブレットデバイスとBluetooth機器を接続するには、ペア設定（ペアリング）が必要です。

1 ホーム画面で ► **【設定】** ► **【Bluetooth】** ► **【機器の検索】**

2 **ペア設定を行うBluetooth機器名をタップ ► 「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認 ► 【ペア設定する】**

- 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合は「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認 ► **【ペア設定する】** をタップします。

🔦お知らせ

- ペア設定を行う機器側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。
- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力が必要になる場合があります。タブレットデバイスのパスコード（PIN）は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- ペア解除する場合は、解除するBluetoothデバイス名の  ► **【ペアを解除】** をタップします。

Bluetooth機器と接続する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【Bluetooth】** ▶ **【機器の検索】**
- 2 接続したいBluetooth機器名をタップ

お知らせ

- 接続中のBluetooth機器名の  をタップすると、接続したBluetooth機器の状態を確認したり、設定を変更したりすることができます。

Bluetooth機器の接続を解除する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【Bluetooth】**
- 2 接続中のBluetooth機器名をタップ
- 3 **【OK】**
 - 再接続するときは、Bluetooth機器名をタップします。

Bluetooth機能でデータを送信する

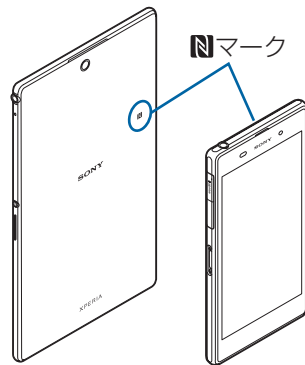
- 1 各アプリの共有メニューで **【Bluetooth】**
- 2 送信する相手のBluetooth機器名をタップ

Bluetooth機能でデータを受信する

- 1 相手のBluetooth機器からデータを送信
 - ステータスバーに  が表示されます。
- 2 ステータスバーを下にドラッグ ▶ **【Bluetooth：ファイル着信】** ▶ **【受信】**

NFC通信

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送信／受信できます。



- データを送信／受信するにはあらかじめNFC機能をオンにしてください。
- タブレットデバイスと携帯電話などを平行にしてNマークを向かい合わせ、送信／受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送信／受信の操作や送信／受信できるデータについては、対応するアプリによって異なります。画面の指示に従って操作してください。
- データの送信／受信時に利用規約画面などが表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- Nマークを向かい合わせても、送信／受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送信／受信の操作を再度行ってください。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、タブレットデバイスを少し浮かしたり、前後左右にずらしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC機能をオンにする

1 ホーム画面で  ► [設定] ► [その他の設定]

2 「NFC」にチェックを入れる

3 [Androidビーム] ►  をタップまたは右にドラッグ

- 「Androidビーム」をオンにすると、NFC対応の機器に近づけて、アプリのコンテンツの共有やデータを送受信できます。

ワンタッチ機能でデータを送信／受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、タブレットデバイスで撮影した写真や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

データを送信する

1 NFC機能がオンになっていることを確認

2 送信したいデータを画面に表示させる

3 受信側の端末と、マークを向かい合わせる

- 「タップしてビーム」と表示されます。

4 小さくなった画面をタップ

データを受信する

1 NFC機能がオンになっていることを確認

2 送信側の端末で、データ送信の操作を行う

3 送信側の端末と、マークを向かい合わせる

- ステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ ► [ビームが完了しました] をタップすると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

パソコンとの接続

パソコンと接続すると、パソコンからタブレットデバイスのデータのコピーや移動、削除などの操作ができるようになります。

- 著作権で保護された画像や音楽などは操作ができない場合があります。
- 表示される画面は、パソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。

microUSBケーブルでパソコンに接続する

- パソコンのOSは、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8／8.1に対応しています。
- お買い上げ時は「メディア転送モード（MTP）」でパソコンに接続されます。
- 「ファイル転送モード（MSC）」などを使用するには、microSDカードをタブレットデバイスに取り付けてご利用ください。

1 microUSB接続端子カバーを開き、microUSBプラグを水平に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 初めてmicroUSBケーブルを接続したときは、パソコンにタブレットデバイスのドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。
- タブレットデバイス上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。

メディア転送モード（MTP）の場合：パソコン上の画面にタブレットデバイスがポータブルデバイスとして表示され、タブレットデバイスの内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。

ファイル転送モード（MSC）の場合：パソコン上の画面にタブレットデバイスがリムーバブルディスクとして表示され、タブレットデバイスのmicroSDカードにアクセスできるようになります。

🔦お知らせ

- ホーム画面で  ► [設定] ► [Xperia™接続設定] ► [USB接続設定] をタップすると、USB接続モードの接続状態の確認や接続設定を変更できます。
- 「USB接続モード」を「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えてパソコンに接続しているときは、タブレットデバイス側でmicroSDカードにアクセスできなくなります。そのため、「カメラ」「アルバム」などのアプリで、microSDカードを使用する機能が利用できない場合があります。

microUSBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

メディア転送モード（MTP）の場合

1 データ転送中でないことを確認し、microUSBケーブルを取り外す

ファイル転送モード（MSC）の場合

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 [SDカードが接続されました]

3 microUSBケーブルを取り外す

Wi-Fi上でパソコンを接続する

Wi-Fi上でペア設定したパソコンから、タブレットデバイスの内部ストレージやmicroSDカードのファイルにアクセスすることができます。

- パソコンのOSは、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7またはMicrosoft Windows 8／8.1である必要があります。その他のOSではペア設定できません。
- Microsoft Windows 8.1の場合は、microUSBケーブルを取り外した状態でPC Companionの「接続方法」をクリックし、表示される画面の指示に従って操作してください。PC Companionについては、下記のホームページをご参照ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/>
- Wi-Fiネットワーク（アクセスポイント）のプライバシーセパレータ機能が有効になっている場合はペア接続ができません。詳細については、アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

Wi-Fiネットワーク内のパソコンとペア設定する

- 1 ペア接続したいパソコンを、Wi-Fiネットワークに接続**
- 2 タブレットデバイスを、パソコンが接続されたWi-Fiネットワークに接続 (P.48)**
- 3 タブレットデバイスをmicroUSBケーブルでパソコンに接続**
 - タブレットデバイス上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。
- 4 パソコンで「コンピューター」画面を表示▶ ポータブルデバイスとして表示されているタブレットデバイスのアイコンを右クリック▶ 「ネットワーク構成」▶ 「次へ」**
- 5 タブレットデバイスのポップアップ画面で [ペア]**
- 6 パソコンの「ポータブルデバイスのネットワーク構成」画面で「完了」**
- 7 microUSBケーブルを取り外す**

Wi-Fiネットワーク内のパソコンと接続する

- 1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [Xperia™ 接続設定] ▶ [USB 接続設定] ▶ 「ワイヤレスメディア転送」欄の「ホスト名」(パソコン名) をタップ**
- 2 [接続]**
 - Wi-Fiネットワーク上でパソコンと「メディア転送モード (MTP)」で接続され、ファイルをやりとりできるようになります。
 - 接続を切断するには、[切断] をタップします。
 - 接続設定を解除するには、[ペア設定を解除] ▶ [OK] をタップします。接続設定を解除するまでは、Wi-Fiネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。

DLNA 機器との接続

Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器とタブレットデバイスのメディアファイルを共有し再生できます。
・あらかじめ他のDLNA機器と同一のネットワークでWi-Fi接続を設定しておきます。

メディアサーバーを設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Xperia™接続設定】 ▶ 【メディアサーバー設定】**
- 2 **「メディア共有」の  をタップまたは右にドラッグ**
 - ・ステータスバーに  が表示されます。
 - ・**【サーバー名の変更】** をタップすると、DLNA機器上で見えるタブレットデバイス（メディアサーバー）の名称を変更できます。
 - ・**「Xperia™にアップロード」** にチェックを入れると、DLNA機器からタブレットデバイスにメディアファイルをアップロードできます。
- 3 **DLNA機器のアプリでタブレットデバイスへ接続**
 - ・タブレットデバイスにメディアサーバーへのアクセス要求が通知されます。
- 4 **タブレットデバイスのメディアサーバー設定画面でアクセス許可待ちのDLNA機器をタップ▶アクセスレベルを設定**
 - ・DLNA機器が登録されます。
 - ・**【今回のみ許可】** をタップした場合は、表示されるメッセージを確認して **【OK】** をタップします。
- 5 **DLNA機器でタブレットデバイスのメディアファイルを選択して再生**

DLNA機器のメディアファイルをタブレットデバイスで再生する

- 1 ホーム画面で **【Walkman】 / 【アルバム】 / 【ムービー】** のいずれかをタップ
- 2 画面の左端を右にフリック▶ **【機器】 ▶ デバイスを選択**
- 3 **フォルダを選択▶メディアファイルを選択**

タブレットデバイスのメディアファイルをDLNA機器で再生する

- 1 ホーム画面で **【Walkman】 / 【アルバム】 / 【ムービー】** のいずれかをタップ
- 2 再生したいファイルをタップ▶  ▶ **【Throw】**
- 3 **デバイスの一覧画面に表示されたデバイスをタップ**

テレビとの接続

写真や動画などをテレビ画面に表示できます。次の操作手順は、MHL対応テレビに接続して操作する方法です。

1 市販のMHLケーブルでタブレットデバイスのmicroUSB接続端子とテレビを接続

- 自動的にTV launcherが起動します。
自動的にTV launcherが起動しない場合は、ステータスバーに 、 が表示されます。
ステータスバーを下にドラッグ▶ [TV launcher] をタップすると、TV launcherが起動します。

2 テレビをMHL入力モードに切り替える

3 アイコンを左右にフリック▶ 使用したいアプリを選択

🔦 お知らせ

- HDMI対応テレビと接続する場合は、市販のHDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）とHDMIケーブルが必要です。
- MHL接続を使用しないときはMHLケーブルやHDMI変換コネクタなどを取り外し、MHL接続を解除してください。MHL接続されたままだと電池の消耗が早くなる場合があります。
- タブレットデバイスでは、MHLによるテレビ出力において、解像度720×576p（50Hz）はサポートしておりません。
- 次の機器と接続することで、テレビのリモコンを使用してTV launcher画面やホーム画面を操作できます。また、アプリによっては操作できるものもあります。
 - リモコン操作制御規格（RCP）をサポートしているMHL対応テレビ
 - リモコン操作制御規格（CEC）をサポートしているHDMI対応テレビ（RCP対応の市販HDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）が必要）
- MHL接続時にステータスバーを下にドラッグして、MHL接続の通知項目をタップすると、リモコンの使用方法を確認することができます。

故障かな？と思ったら

電源

電源が入らない

- 電池切れになっていませんか。→P.4
- 電源を切った状態から起動するときは、タブレットデバイスの起動に時間がかかる場合があります。

画面が動かなくなり、電源が切れない

- 操作ができなくなった場合は、microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバーを開く▶黄色のOFFボタンを約3秒間押し、タブレットデバイスが3回振動した後に離すとタブレットデバイスの電源を強制的に切ることができます。
◎と音量キーの上を同時に約3秒間押し、3回振動した後に指を離してもタブレットデバイスの電源を強制的に切ることができます。→P.5
- この操作を行うとデータや設定した内容などが消える場合があります。

充電

充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）

- ACアダプターの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプターとタブレットデバイスは正しく接続されていますか。→P.4
- 充電しながら操作を行うとタブレットデバイスの温度が上昇することがあります。
温度が上昇すると充電が停止したり、充電が完了しない場合があります。タブレットデバイスの温度が下がってから充電を行ってください。

通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない

- 電池残量が少ない場合は充電してください。→P.4

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 充電しながら操作すると、タブレットデバイスやACアダプターが熱くなることがありますが、動作上問題ありません。

電池の使用時間が短い

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.4

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P.5
- 「画面のロック」を設定していませんか。→P.56
- タッチスクリーンの正しい使いかたを確認してください。→P.7
- ロック画面で上下左右にフリック（スワイプ）しても画面ロックを解除できない場合は、TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている可能性があります。TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている場合は、2本の指で画面を上下左右にフリック（スワイプ）してください。→P.60
- システムが停止している可能性があるため、いったん電源を切り、入れ直して改善するか確認してください。→P.5

タップしたり、キーを押したときの画面の反応が遅い

- 大量のデータが保存されているときや、microSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

動作が不安定

- お買い上げ後にインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能）で改善される場合には、インストールしたアプリを削除（アンインストール）することで症状が改善される場合があります。

セーフモードを起動するには、電源を切った状態で  を1秒以上押し、XPERIAロゴが表示されたら音量キーの下を長く押し続けてください。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。

セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

電源を入れている状態で  を1秒以上押し ▶ 「電源を切る」をロングタッチ ▶ 「OK」をタップしても、セーフモードで起動できます。

- 事前に必要なデータをバックアップしてください。
- 作成したウィジェットが消去される場合があります。
- 通常で利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- アプリが無効化されていませんか。→P.55
- アプリによっては、タブレットデバイスの言語設定で選択された言語に対応しておらず、異なる言語で表示される場合があります。

削除（アンインストール）できないアプリがある

- アプリによっては、アンインストールできないものがあります。

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。
 - 「日付と時刻を自動設定」にチェックが入っているかを確認してください。→P.60
 - 続いて、Wi-Fiネットワークに接続して電源を入れ直してください。→P.48

お買い上げ時の状態に戻したい

- 「バックアップとリセット」からデータの初期化を行ってください。→P.58
 - ダウンロードしたアプリを含むすべてのデータやアカウントなどが削除され、初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。
 - 重要なデータはバックアップしてから初期化してください。

画面

ディスプレイが暗い

- 「スリープ」を短い時間で設定していませんか。→P.53
- 「画面の明るさ」を変更していませんか。→P.53
- 「画面の明るさ」で「明るさを自動調整」にチェックを入れている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります。→P.53
- 「低バッテリーモード」を設定していませんか。→P.54
- 照度センサーをシールなどでふさいでいませんか。→P.3
- タブレットデバイスの温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合があります。

表示されない点がある

- 一部の画素（点）が表示されない場合もありますが、故障ではありません。

タブレットデバイスの向きを変えても画面表示が自動で切り替わらない

- 「画面の自動回転」がオフになっていませんか。→P.8

画面ロックの設定が解除できない

- Google アカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できる場合があります。→P.56

音

スピーカーの音が割れる

- 「音量」を確認してください。→P.52
- 画面を回転させると音声途切れる場合があります。

キー操作時にタップ音がする

- 「タッチ操作音」がオンになっていませんか。→P.52

映像

映像が途切れる／コマ落ちする／映像と音声がずれる

- ・ファイル形式は対応していますか。→P.79
- ・一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。→P.5
- ・データが破損している可能性があります。
- ・他のアプリが使用中になっていないか確認してください。他のアプリを使用中の場合は  をタップして終了してください。→P.19

Wi-Fi

Wi-Fiネットワークに接続できない

- ・Wi-Fi機能がオフになっていませんか。→P.48
- ・Wi-Fiネットワークの接続設定を確認してください。→P.48
- ・通信機器間に電波をさえぎる障害物がないか、距離が離れすぎているか確認してください。
- ・「Wi-Fiチェッカー」アプリを使って、Wi-Fi接続を確認してください。→P.17

メール

メールを自動で受信しない

- ・Eメールアカウントの設定で「確認頻度」を「手動」に設定していませんか。→P.30

カメラ

カメラで撮影した写真や動画がぼやける

- ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないか、フィルムを貼り付けていないか確認してください。
- ・撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に切り替えてください。→P.37
- ・撮影モードが「マニュアル」のときは、フォーカスモードを利用してもピントを合わせるができます。→P.38
- ・撮影時の設定でオプションメニューから手ブレ補正／電子式手ブレ補正を設定して撮影してください。→P.38
- ・人物を撮影するときは、顔検出を使用してください。→P.36

データ管理

データ転送が行われない

- ・USBハブを使用していると、正しく動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

- ・microSDカードを取り付け直してください。→P.62

Bluetooth機能

Bluetooth機器と接続できない

- ・Bluetooth機器を検出可能にし、タブレットデバイスからペア設定を行ってください。→P.64
- ・Bluetooth機器とペア設定を解除し、再度同じBluetooth機器と接続する場合は、一度Bluetooth機器とタブレットデバイス両方のペア設定を解除してください。→P.64

GPS機能

GPSサービスが設定できない

- ・GPSの電波状況の良い、上空の見晴らしの良い場所に移動してください。

保証とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。

- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・ 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後4年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

取扱上のご注意

- お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、傷がつく場合があります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、表面の仕上げを傷めることがあります。
- 接続端子が汚れると接触が悪くなり、電源が切れたり充電がされない場合がありますので、接続端子は乾いた綿棒などで時々拭いてください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近くで使用すると影響を及ぼす場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 磁気データや磁気を帯びたものに近づけないでください。
キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気データが消えたり、タブレットデバイスの誤動作の原因となります。
- フル充電や電池残量が充分でない状態で保管すると内蔵電池の性能低下の原因となります。
電池残量が40パーセント程度での保管をおすすめします。

防水／防塵性能

microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバーを確実に取り付けた状態で、IPX5、IPX8の防水性能、IP6Xの防塵性能を有しています。

IPX5：内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、タブレットデバイスとしての機能を有することを意味します。

IPX8：常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときにタブレットデバイスとしての機能を有することを意味します。

IP6X：直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置にタブレットデバイスを8時間入れてかくはんさせ、取り出したときにタブレットデバイスの内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SGP611／SGP612が有する防水／防塵性能でできること

- ・ 雨の中で傘をささずに操作ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
 - 手が濡れているときやタブレットデバイスに水滴がついているときには、microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバーの開閉はしないでください。
- ・ 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
 - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
 - 洗うときはmicroSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。
- ・ プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

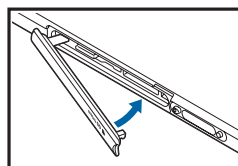
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

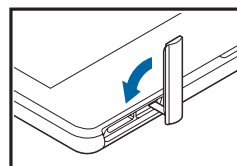
- ・ 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ・ microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- ・ マイク、スピーカー、ヘッドセット接続端子などを尖ったものでつつかないでください。
- ・ 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ・ microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバーの閉じかた

矢印の方向へカバーを押し込んですき間がないことを確認してください。



microSDカード
挿入口／銘板プレート
引き出し口カバー



microUSB
接続端子カバー

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定以上の強い水流（6L／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。IPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- タブレットデバイスは水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、相談窓口へご連絡ください。
- microSDカード挿入口／銘板プレート引き出し口カバー、microUSB接続端子カバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、相談窓口にてお取り替えください。
- タブレットデバイスが水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。
- 湿気の多い場所に長時間放置しないでください。ご使用後は、浴室から取り出しておいってください。
- 寒い屋外から暖かい浴室などに急にタブレットデバイスを持ち込まず、一度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。

！ 注意

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

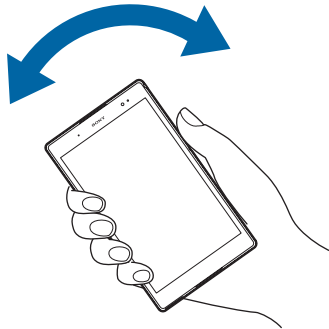
水抜きについて

タブレットデバイスを水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 タブレットデバイスをしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

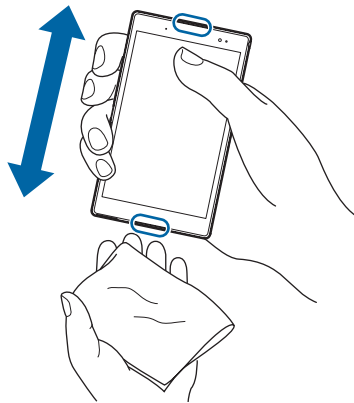


- 2 タブレットデバイスをしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



- 3 タブレットデバイス内部より出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

- ・特にマイク、スピーカーは水が抜けにくいので、布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。



- 4 乾いた清潔な布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して自然乾燥させる

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、タブレットデバイスが濡れていないか確認してください。タブレットデバイスが濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- タブレットデバイスが濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、クレードル（別売）に差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。
- ACアダプターやmicroUSBケーブルは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターやmicroUSBケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を手できます。

ご利用上の注意

- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 電池残量がフル充電の状態を更新されることをおすすめします。
- 更新中は電源を切らないでください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

1 ホーム画面で ▶ 【更新センター】

2 ▶ 【更新】

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

最新のソフトウェア更新を自動ダウンロードする

最新のソフトウェア更新を定期的に検索します。更新がある場合はソフトウェアが自動でダウンロードされ、ステータスバーに  が表示されます。

1 ホーム画面で ▶ 【更新センター】

2 ▶ 【設定】

3 【自動更新を許可】 ▶ 【常に自動的に更新する】

- メッセージが表示されたら、内容をご確認の上【同意する】をタップしてください。

パソコンに接続して更新する

あらかじめパソコンに「ソフトウェア更新」を行うためのソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストール方法などについては、下記のホームページをご参照ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

主な仕様

本体

OS	Android™ 4.4
プロセッサ	動作周波数：2.5GHz
メインメモリー	3GB
液晶表示装置	画面サイズ:8.0型 解像度名称：WUXGA 解像度：1920×1200
ストレージ	16G／32GB
主な入出力	microUSB接続端子搭載 ヘッドホン出力：ステレオミニ端子×1（デジタルノイズキャンセリング対応）
Wi-Fi	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠、MIMO対応
GPS機能	搭載
Bluetooth®機能	Bluetooth® v4.0 準拠
カードスロット	microSDメモリーカードスロット×1
対応SDメモリーカード	microSD、microSDHC、microSDXC（最大128GB）
スピーカー	内蔵ステレオスピーカー
マイク	内蔵モノラルマイク
フロントカメラ	有効画素数220万画素
カメラ	有効画素数810万画素
主な付属品	ACアダプター、microUSBケーブル
外形寸法	幅：約213.4mm×高さ：約6.4mm×奥行：約123.6mm
質量	約270g

・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ファイル形式（メディア）

次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	WAV (PCM、G.711) (.wav)、AAC (.3gp、.m4a、.mp4)、AAC+ (.3gp、.m4a、.mp4)、eAAC+ (.3gp、.m4a、.mp4)、MP3 (.mp3)、AMR-NB (.3gp)、AMR-WB (.3gp)、MIDI (SPMIDI/GM/GML (.mid)、XMF (.xmf)、Mobile XMF 1.0 (.mxmf)、RTTTL/RTX (.rtttl、.rtx)、OTA (.ota)、iMelody (.imy))、Ogg Vorbis (.ogg)、FLAC (.flac)、WMA (.wma)、ALAC (.m4a)、DSD (.dsf、.dff)
静止画	JPEG (.jpeg、.jpg)、GIF (.gif)、PNG (.png)、BMP (.bmp)、WEBP (.webp)
動画	H263 (.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、H264 (.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v、.mnv)、MPEG4 (.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、VP8 (.webm、.mkv)、VP9 (.webm)、Xvid (.avi、.xvid、.mkv)

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not use in environments where relevant IP rating limitations, if applicable, are exceeded (including excess depths and/or pressures of liquid and/or dust) or expose to excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5 °C or above +35 °C. Do not expose the battery to temperatures above +60 °C.
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the products.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony authorized personnel should perform service.
- Consult with authorized medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use a Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with tablet devices or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C and +35°C. Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony battery that has been qualified with the product as per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

Personal medical devices

Tablet devices may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 15cm (6 inches) between the tablet device and the medical device. Do not carry the tablet device in your breast pocket. Turn off the tablet device if you suspect interference. For use in proximity to personal medical devices, please consult a physician and the device manufacturer.

Driving

In some cases, vehicle manufacturers may forbid the use of tablet devices in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that a tablet device or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information. Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings. Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony could damage the tablet device, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorization before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm tablet device. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the tablet device from known, reliable sources.

Accessories

Use only Sony branded original accessories and certified service partners. Sony does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

Disposal of old electrical and electronic equipment and battery

This symbol on the electronic product or on its packaging indicates that the electronic product (including the battery) should not be treated as household waste. Instead it should be handed over to the appropriate collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory card. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instruction of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check if you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the memory of the tablet device does not ensure that it cannot be recovered. Sony does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。

ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。

本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。

お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。

お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。

本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。

本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。

お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取消されます。

本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。

本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。

本契約の準拠法は、日本法とします。

上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。

本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

The products and accessories may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan.

In addition, the Export Administration Regulations (EAR) of the United States may be applicable.

In cases of exporting or reexporting the products and accessories, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost. Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan or the Department of Commerce of the United States for details about procedures.

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。



- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi DirectおよびWi-Fi CERTIFIED MiracastはWi-Fi Allianceの商標です。



- Xperia、TrackID、Sociallifeは、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- PlayStation、、DUALSHOCKは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。



- Sony、スイングパノラマ、スマイルシャッター、プレミアムおまかせオート、顔検出、Walkman、X-Reality、PlayMemories、Reader、STAMINA、Sony Entertainment Network、Video Unlimitedはソニー株式会社の商標または登録商標です。

- POBoxおよびPOBoxロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
POBoxは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

-  は NFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「Google+」「Gmail」「Google マップ」「ハングアウト」「YouTube」「Google Chrome」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- SkypeはSkype Limited.社の商標または登録商標です。
- "DLNA"、"DLNA"ロゴはDigital Living Network Allianceの商標または登録商標です。

- MHL、Mobile High-Definition LinkおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。

- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

- MirrorLink、MirrorLinkロゴはCar Connectivity Consortium LLC.の商標または登録商標です。
- LinuxはLinus Torvalds, individualの登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Windows Vista」「Windows Media」「PlayReady」と「Microsoft Exchange ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術の本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii) 商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます（<http://www.mpegla.com>を参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- ANT、ANT+はANT Wirelessの商標または登録商標です。
- ANT+™搭載のフィットネスハブとしての使用について
タブレットデバイスはANT+™技術に対応した健康機器やフィットネス機器と共に使用できます。
例えば、ANT+™に対応した心拍数モニターやフットパッド（速度・距離測定用）を付けてランニングを行うと、走行のデータをお使いの端末に収集し、自身のパフォーマンスの分析や、改善方法について確認できます。
ANT+™スポーツやフィットネス、健康機器をサポートする各種アプリケーションはGoogle Play™からダウンロードできます。
ANT+™対応機器については、www.thisisant.com/directoryをご覧ください。

- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。